

神様しか知らない

# 神社参拝の

二代目神道系霊能者

泉 皇導

# 奥義



## ◆まえがき

霊能者占い鑑定所 神気界しんきかい（シンキカイ）およびオンライ  
ンサロン「千泉界せんぜんかい（センゼンカイ）」代表の泉皇導いづみこうどうへイ  
ズミコウドウと申します。

私は30年間続く霊能者占い鑑定所の2代目として仕事をする、生粋の霊能者です。

本書では両者のことは深くはお話しませんので端的に説明しますが……

霊能者占い鑑定所 神気界しんきかいでは90分5万円で年間40件〜500件程度あらゆる鑑定を行なっており、オンラインサロン千泉界せんぜんかいは月額1万450円にて開設1年5ヶ月で会員数が57名になりました。

本著は私のその「伝えること」の価値を凝縮した、もう一言一句も書けないと嘆くまで書き続けた渾身こんしんの一冊

になります。どうか最後までお付き合い下さい。

さて、私が長年ほぼ欠かさずに月2回参拝を行い続けている神社があります。

それは「千代保稻荷神社」という、岐阜県海津市の神社です。

往復2時間、50キロほどの道のりを月2回、ライフワーク化してしまったのでもう遠いとも全く考えていませ

んが、私の霊能者人生はこの神社のお導きによりあり続けてきました。

実のところ、私は不器用がひどいので、おそらくコンビニバイトすら全うできない程度の人間です。工場の作業も2日目の午前中でギブアップ、大人しく事務員をやる事すら居眠りして不可能、ほとんどの仕事を3ヶ月以内で辞めてきた……など、これを読む皆さんに申し訳ないほどに出来が悪い自覚があります。

ただし一点、この「霊能者」という仕事においては、他の追随を決して許さない程度には仕事ができる、という自負があります。

かつては根無し草以下と言っても良かった出来の悪い私ですが、父より引き継いで二代目の霊能者になってから千代保稲荷神社へと参拝を重ねることで、占い師としても霊能者としても、個人1名のみが鑑定する形式としては、西日本3位ぐらいのボリュームの占い業になれま

した。これは単に1名が行なうサービス業として見ても、超一流の部類で間違いありません。

2年前に一種の天井に当たるまでは、8年連続で売上高は右肩上がりでした。

現在ではその天井を突き破るべく、別事業として社員2名を雇用し、結婚相談所の開業や兼ねてからの夢・目標でもあったIT事業の立ち上げなど、以前の私では考えられなかった流れを頂戴できています。

コンビニバイトすら危ういロースペックな人間が、そのような霊能者や経営者に10年間になってしまふ。

これは参拝により「奇跡が起こった」と言えます。未だその奇跡は日々、更新中です。

霊能者として知る事実の話です。

人は、生まれてきたその時には、「欲」や「個性」や「熱量」だけの生き物でしかありません。そして、そのまま



生きれば危うい人物にしかありません。

そこで、その「欲や個性や熱量」を「昇華するための設計図」を神社神道の神様は人に与えられます。

たとえば「正義感から文句を言いたい癖があるが倫理的ではないし道徳的でもない、ワガママで、普通と言われる事するのが特に嫌な子供」が0歳として生まれたとします。

このまま成長すると、人に間違った文句を言って爪弾

き者になり、考え方も危うく、生き方も成長も危うく、凶暴になって犯罪者になるか、日銭を稼いでギャンブルに投じる孤独な人間になってしまうと、神社神道の神様として考えになられたとします。

そこで神社の神様は、「この子をどう活かしてみせようか」とお考えになり、その子供に神様が、40〜60個程度の「設計」を組み込みます。

その設計の中身とはこの男の子の例であれば、

・ 文句は言わないが、良い結果を出して抗議とする

・ 倫理・道徳・常識を失敗から学び、恥を意識してそれ  
らから逸脱いつだしないようになる

・ 人を批判するのに足る立場を欲して向上をしていく  
（文句が言える立場になるために向上する）

・ 周囲を率いる実行役となる。ワガママと言えばワガマ

マだが、それを昇華して周囲に用いることとする

- ・「普通」と言われるような立ち位置におらず、非凡ひぼんを目指して向上するものとする

- ・ギャンブルはしない。してもいいが、損得関係なしに異常な嫌悪感を感じることにする。

- ・他者に魅力を感じ、それを本人に向けて発言に出す。その行動自体がこの本人の魅力であるように周囲が認識するようにし、周囲との関係性を保つこととする。

(他34項目)

という形式に例えばなるそうです。

そうすると、酷い人生になりそうな子供がこの「設計」を加えられた事により、なんとも優秀で知的で人気者で、いい人生を送りそうな人間に変わってくるわけです。

人間の可能性は無限ではなく有限ですが、この「人間や人生の設計図」の範囲内であれば、何者にでもなれま

す。

実際には我々はこのような形式で「神社の神様に導かれていく」のです。

その「設計図」を使った支配Ⅱお導きを、一億二千万人、全員が受けています。

設計図というものは一生変わりませんが、それを後天的に「誰が居る中で」「どの組織や集団で」「どのような

立ち位置で「誰とのどのような関係性でありながら」活かすのかによつて、人生はいかようにでも動きます。これもまた神様の行なうお導きの正体です。

車自体を形作るのは「設計」。どの道を進むかを決めるのが、神社参拝で得られる「お導き」だと言えます。

人はこの神社参拝によつて受けるお導きにより、必ず良い方向に行きます。社会的にも、精神的にも、人間的

にもです。継続して参拝し続ける事により、神様がお導きを行われ、またお導きの結果を見てさらにお導きを行われる、という良いサイクルができます。

ただし神様も「個性」や「気分」のある存在です。

神様に無視されない、もつと言えば良く見られる・良く扱われるような方法を知ること、より良いお導きを受けることができ、災いを避けることができるのもまた



事実です。

同時に、知らず知らずにふざけた参拝をしており神様の気分を損ね、良い道筋の芽を摘まれ、不運や災難を植え付けられることも実際にあります。

この本により、あなたは今後の一生を清く・正しく・美しく参拝することができるようになります。その先に迷いのない、光のある人生が必ず得られます。

断言しますが、人生をこの上なく良いものにするためには、まずは神社参拝が究極の手段です。それはあなたの親も、祖父祖母もご先祖様もそう信じてきたようにこれは文化的に真実であり、世の事実でもあります。

あなたや、あなたのご家族の未来に奇跡をもたらすことができるよう、本書は心を込めて、かつ全身全霊で書きました。

ぜひ、大切にゆつくりとお読みいただけましたら幸いです。

オンラインサロン「千泉界」

霊能師占い鑑定所「神気界」

代表 泉 皇導

## 目次

### ◆まえがき

.....

2

### ◆第一章 そもそも神とは？

#### 神社とは？

.....

15

1. 定義があやふやな日本人にとっての神

.....

18

2. 正しい神の認識

.....

22

3. 神社・神様とは？

.....

29

4. 仏閣・仏様とは？

.....

31

5. 霊能者から見た神様と仏様の違い

.....

33



8. いざ参拝と祈念 : : : : : 82

9. ご祈祷を受ける場合 : : : : : 85

10. 帰り道と禁止事項 : : : : : 100

◆第三章 参拝の心のありかた : : : : : 109

1. 神様はあなたに関心はない : : : : : 111

2. 神様の評価基準 : : : : : 114

3. 神様の高貴なたしなみ : : : : : 124

◆第四章 正しい神社選び : : : : : 129

1.	どの神社へ行くのが正解か？	133
2.	神様へのお願い事は2種類に分けられる	139
3.	「重い願い」を祈るべき神社はどこか？	143
4.	最強のパワースポットである開運神社はどこか？	154
◆	第五章 「神様に好かれるために」 理解すべきこと	
1.	神道の神様の判断基準とは	171
		174

2.	神道の神からするところの「善人」とは……	179
3.	仏教的な善人との違いは……	184
4.	神道の神からするところの「善人」とは2……	187
5.	神道の神からするところの「悪人」とは……	190
6.	特殊な「善人」……	195
7.	特殊な「悪人」……	199
8.	今すぐ「善人」になるには……	204
◆	あとがき……	214



◆特典プレゼント	219
◆著者紹介	220
◆関連ウェブサイト	222

## ◆第一章

そもそも神とは？

神社とは？

昨今のスピリチュアルブームに乗じて、多くの方が神社や仏閣への参拝を行い、目に見えない存在を意識するようになりました。

しかし、これに伴い、その背景や意味を十分に理解せずに参拝する方が増えているようです。特に、「神社というものや神社の神様が分からないから頼らない」という考え方だった人々が、「分からないけど頼っとく」という方向性にシフトしていると感じます。

これは戦後のGHQ占領より日本では神社神道の教育が撤廃され、「神社」「神様」というものが一般教養の範囲から逸れた存在になってしまったことが原因です。これにより、1000年以上続く「分かった上で頼つとく」という文化が廃れてしまったせいかなと思います。

そのため、別に神社や神様について知らないことは恥ずべきことはありません。普通だと言えます。

しかし本書は、皆さんがきちんと神社を「分かった上で頼つとく」人になるためのものです。

この章では、神様と神社の定義について知ることができます。

## 1. 定義があやふやな日本人にとっての神

現代では嘆かわしいことにですが、「神ってる」や「マジ神」や「神曲」だの「神推し」とか「神じゃね」などという言い方で、意味合いとしては「究極」という単語の代用という使われ方で「神」というのが使われます。

しかし、これは西洋や他の文化圏における神の概念と

は異なる使われ方です。たとえば、西洋人の言う「オー・マイ・ゴッド！（おお、神よ〓なんてこった）」とか、「ジーザス・クライスト！（イエス・キリスト〓なんてこった）」は、信仰心があつて、全ての物事を神が支配しフルコントロールしているという認識の上での「神様はなんてことをしてくれたんだ！」という発言にあたります。

日本人が現代語・若者言葉として口にする「神」という言葉は、単なる「よくわかんないぐらい究極」という

意味で発せられるものです。

このような事例から分かる通り、日本人は「神」の定義がよくわかっていません。

日本は間違いなく、宗教に関する教養では先進国最低の国家であるからとも言えます。

残念ながら、後進国を交えたとしても最底辺に近いと言えます。



これは、第二次世界大戦後、国家神道が廃止され、宗教教育を禁止された事が要因です。また、小中高大の教育者に異常に左派が多く、この日本的自意識の象徴である「日本の神」もしくは「天皇制」に関しての教育を避け、悪いイメージを一生懸命に押し付けてきた辺りも原因かと思います。

あなたも耳にしたことがあるかと思いますが、キリス

ト教式の結婚式では、新郎新婦に牧師が、

「カミニ　チカイマスカ」

などと言っています。

その牧師の言う「神」自体を、いわゆる「神」として認識し、神社の神様も同じなんじゃないの？としている方も多いのではないでしょうか。

おぎやあと生まれて初参り、新年七五三を神社へ参拝

し、法事で寺に通い、大人になったら神社仏閣を気分で参拝、結婚式はキリスト教、死んだら寺でお世話に……。このような意味不明なトリプルスタイルの宗教観がまかり通っているのは世界中探しても日本だけかと思えます。「キリストに祈ってアッラーを唯一神だと奉じてブッダに五体投地する外国人」なんか聞いたことがないのと同じです。

この本を読んでいるあなたは、「比較的信心深く、神社  
仏閣にもほどほどに参拝し、神様を信じている方」に違  
いないと思います。しかし、「どういったいわれを持つど  
の神様に、どれを祈ったら良いと思って何を祈っている  
の？」と私が尋ねた場合、的確な回答がなされないの  
ではないでしょうか。

いじわるですが、「神社と仏閣の違いって何でしょう  
か？」という質問にも、約半数の方から良い回答は返っ

てこないでしょう。

よく分からんで、よく分からんのを隠して、一切詳しいところは何も知らず、「神様ってすごいね〜」「神社豪華だったね〜」「祝詞のりこときれいだったね〜」と、浅い同意同調でやり過ごしている方も実際には多いのかと思います。

## 2. 正しい神の認識

私は文章を書く時、人に話をする時に「神様」という日本語表現をなるべく使わず、「神社神道の神様」という表現を用いています。これは、聞き手に正しい神の認識が生まれるように促すためのものです。

さて、ここで言うべき正しい「神」の認識は、次の2

つです。

① 古事記や日本書紀などの日本の神話に出られている、日本固有の数多くの名前のある神様達（注…日本語での神様の複数形は「達」です）

② ①の神様および、それ以外にも存在している日本に八百万（無限に等しく数えきれない数）いらっしゃる神様達

他にも「天皇陛下の百数十代前の祖先が天照大神様あまてらすかみさまで、その下にいっぱいいらっしゃるのも神様」「日本にたくさん存在している、超偉い存在が神様」が、「神社神道の神」の定義でもよろしいでしょう。

私が正しいと感ずる中で最底辺の回答は、「手合わせとけば良い存在で、神社仏閣でいったら神社の方が神様」です。



「神社の神様」のルーツは日本では三千年以上前、自然の脅威や恩恵に魂が宿るとして手を合わせた「アニミズム（自然崇拜）」が発祥とされています。

今でこそ日本は世界有数の治水が行われ川の氾濫等（はんらん）はほとんど耳にしなくなりましたが、約三千年以上前というと川の増水で人が死に、長雨で人が死に、干ばつで人が死に、たった数週間の日照りで村ごと飢饉（ききん）で壊滅する

ような時代です。(江戸時代近くまでほとんどそんな時代が多かったと思いますが)

「雨を降らせて下さい」「日を照らして下さい」「作物がとれますように」と人々が願い、その願いが叶うことに「ありがとうございます」と感じるのも自然なことだったのかと思います。

現代ではそのアニミズムが発祥とされていながらも、

「多分2900年前ぐらいからの物語」である古事記・日本書紀という日本の神話によれば、「宇宙作ったのも神様だし、日本列島を作ったのも神様だし、元々神様は人間よりも先に居たからね。いつからかね」という具合でもあります。

「皇祖神」というと「天照大御神」のことを言います。  
この言い方は天「皇」家の始「祖」の「神」という言

い方です。

現天皇陛下から131代の系譜を遡ると天照大御神になります。

そちらを重んじた場合には、神話のほうが正しいという話になります。

「アニミズム（自然崇拜）発祥説」か、「神話が事実である説」か。

「どっちか一つが事実だけどそんなことは関係ない。神様がいらっしやることは事実だし、それ以上も以下でもなければどうでもいいかなあ」というのが私の認識です。

神社神道のルーツに関しては「事實は知らないがどっちかなのは間違いないのでは」と皆さんも考えて頂ければと思います。

発祥はどうあれ、事実として神社神道には少なからず

2900年間もの歴史が存在しています。

より現実的に、極めて懐疑的な目で見たとしても、「日本最古の神社」である奈良県の大神神社は社伝（神社の言い伝え）いわく紀元前95年建立、プラス建築に3年掛かったとしてつまりは2122年前には存在していたのです。

もしもあなたが本書を読み究極の神社参拝をこころざ

し、更に神様とはなんぞやという認識を高めたものでしたら、古事記を読むべきです。

古事記・日本書紀とありますが、古事記は国内向け。

日本書紀は海外（主に対中国）向けの神話とされていて、より文献として重用されるのは間違いなく古事記の方です。

文章的なものでしたらこの二冊が推奨です。

① 現代語古事記 竹田 恒泰（著）

② 古事記完全講義 竹田 恒泰（著）

著者の竹田先生は旧皇族竹田家に生まれた権威ある歴史学者になります。

ところが人物像がコミカルもしくは天才肌なおかげか、非常に面白おかしく学べてしまう奇書がこれです。

また、まんがで分かりやすくライトに、という事でし



たらこちらが推奨です。入門に最適です。神道に関しては二巻まででよろしいかと思います。

『まんがで読む古事記こき 久松 文雄（著）』

皆さんが正しい神社参拝を志すのでしたら、とりあえずこれらのいずれかを手に取り、本の知識から神の定義を手に入れることが推奨されます。

ちなみに、私が特殊な案件の解決や祈念きねんのためにご相談者様を神社へお連れする場合、「まんがで読む古事記こじき」をプレゼントし、当日までに読んでいただいた上で、移動中に延々と神道に関してのお話を致します。

正確な認識を行い、神社神道の神様へ相對するにふさわしい気構えと知識を付けたほうがより願いが届くからです。

日本人の常識として「神」の定義をぜひ手に入れて下さい。神社仏閣にわけも分からず参拝し、結婚式はキリスト教という、思考停止した意味不明な日本人であることを卒業しましょう。

### 3. 神社・神様とは？

神社とは、「神社神道の神様をお祀りし、お捧げ物をしているところ」になり、そこに神様がいらつしやるとも言われている場所になります。

葬式は本来は専門外ですが、意外にも神社の中以外でしたら葬儀もやります。

「なんまいだぶ」ではない、「祝詞のりと」という尊い神様をお願いをする詞うたがあるのがこちらです。

神様とは、前述の「正しい神の認識」の通りの存在です。解釈によれば、縄文時代から日本では崇められていたと言えます。

不思議なことに、神社では仏教で言う仏像と違い、基本的には神様の見た目を描いてあるものは祀りません。

（神像というものが存在していますが、非常に稀なものです）

神様の見た目は、想像も及ばないほど尊い存在のため伺いしれないと考え、姿を模したものなどあれば「見れば目が潰れるぞ」と考えるほど尊ばれていたから、というのがその理由かと思えます。

また、神社神道の神様は絶大な強制力で物事を変える

力があるものの、お怒りになられると「災い<sup>わざわい</sup>」として人を不幸な方向に導かれることもあるとされています。

前述の古事記・日本書紀<sup>にほんしょき</sup>という神話からは、喜怒哀楽が濃厚な自由奔放な個性がうかがい知れます。

そのため、気分を害しないように丁寧に接するべき存在だと私達は考えた方が良いでしょう。

## 4. 仏閣・仏様とは？

仏閣とは、「仏教の仏様をお祀りしているところ」になります。そこに仏像があり、一切の願いが仏様に通じるとされている場所です。

中で葬式もやりますし、葬式のスペシャリストです。98%の方が亡くなってからお世話になるのはここです。



当然のことながら、一般的な墓・仏壇は仏教のジャンルです。

手を合わせて礼をして拝みます。

「なんまいだぶ」とか「おんあぼきや」とか「なむあみだぶつ」と、お経を読むのがこちらです。

仏様とは、「仏教における、ありとあらゆる性質を持ったそれぞれの仏様」で、現代では即願えば救われると言われている存在です。

インドで発祥し、約1500年前に日本にやってきたのが仏教です。

「あとから・外から来たほうが仏教」なので、神社の方に先に手を合わせに行きましょう。

また、「仏の顔も三度まで」とあるように、多くの仏様が慈悲深く心の優しい存在です。

稀に、怒りをもって善い方向に導くとする仏様もいらっしゃいます。

神社の神様のように気分で人を導く等ではなく、慈悲の心と一定の「法」に基づいて人を助け、導く存在と言われている。

## 5. 霊能者から見た神様と仏様の違い

霊能者の目線から見た時の神様・仏様の違いは明白です。

まず、日本の神様は「日本列島」「日本人」の支配権を所有しています。

つまりは、人を導くのは本来99%が神道の神様の領域

であり、仏様は（特例も当然あるとは思いますが）そのルールに沿ってしか人を導けない、ということがあります。

ただし神道の神様は「生者（せいじや生きている人間）」にしか興味がありませんので、死後を良いものにするためには仏教の仏様に祈る必要性が間違いなくあります。

神道の神様は「人を導く」ことよりも「社会を導く」

ことを重要視しています。

そのため、

「若さ」

「社会貢献度」

「将来の成長の可能性」

「他人への好影響度」

「（自営業や上司等として）人を支配しているかどうか。」

または支配する人間になるかどうか」

「生まれた家の貴賤<sup>きせん</sup>」

の6項目によつて上下のヒエラルキーのどこに位置する人間かを区別し、これらがトータルで上層の、「その個人を導けば社会が変わる可能性がある」とする人間にしかあまり興味がありません。

仮に神様からして最も好ましい人間がいるとしたら、「0才児の生まれたてで、知能が著しく高く、勤勉になる可能性が間違いなく、親が教育熱心で、人物像も良く

他者を助け導く心があり、巨大な会社経営者になる才覚のある、資産家の家の息子」という人物です。

違う例で言えば、私のご相談者様で神様に愛されているなど感じた方は、「74歳、上場企業経営者、カリスマ性があり、よく考えよく怒る、人を正す機能に最高に優れた社長さん」や、「45歳頃、営業能力があまりにも優れており、常に幸福度が高い顔をして人と接し続け、自営



業の才能が溢れんばかりにあり、よく笑いよく己を正す、人物の魅力が究極と言って差し支えない男性」や、「43歳会社経営者、元ヤンや始末の悪い人生を送ってきた人、頭から抑えつけていっぱしの仕事人としてこき使い矯正する、超天才的な複数同時作業や複数同時思考を得意とする、IQが高すぎる元ホスト王（たまに人を殴る）」などでしょうか。（念のため、全員実在の人物です）

最後の方を引き合いに出すと、「善悪より社会貢献度の方が大事」というのが伺い知れるところです。

対する仏教の仏様は「個人の心を昇華してあげること」を重要視しています。

人を区別・差別することはなく、また、より「敗者」や「苦悩する人間」に対して強い導きを發揮される傾向があります。（逆に、「敗者を作る人」や「人を苦悩させ

る人間」を好みません）

人を「悟りを開く」方向性へと導くことが仏様の大目的です。

それにより悟りが開かれる人は百万年に一人も居ないとされていますが、それでも導かれます。

「苦悩と向き合い克服し、苦悩に価値さえ見出すような人間は、全ての人を導くような柱になる」というものを一つの真理とし、その柱を世の中の人間に増やすことを

現代での「衆生救済」しゅじょうきゆうさい（現世で苦しみ悩む全ての者を救済すること）としてゐるようです。

仏様が最も好む人物像は「狂人」きやうじんになつてもおかしくないような恐怖や苦痛に接したがそれを克服し受けいれており、また人の悩みを自らと分かち合うことを欲しており、やつれるとしても人に尽くし助け、刃やいば（人を傷付ける機能）を持たず、優しく、時にしっかりと怒りを持つ

てでも人を善い方向性へと導けるような達観した人間」です。

また仏様は仏教徒の死者をお浄土（仏様が支配する死後の世界・いわゆる天国）へと導かれます。生前（生きている間）も、その先の死後も導くといった性質があります。

このように、神仏では全く思想が違います。日本でのその共存が奇跡と言えるぐらい、まったくもってゴールが異なります。

そのため前述のホスト王さんなどは「神に超好まれ仏に超嫌われ」という格好の人物であり、また、場合によつては世の中にはその真逆の人物も居るという事になります。

神仏の違いや定義に関して、ここまでお読みいただく中でご理解いただけましたでしょうか。

「神社もお寺も違いがよくわかんないけど、とりあえずお参りしておけば良いっしょ」という考えの方は、この本のこの時点ではゼロになったのではないかなと思います。

## ◆第二章

### 正しい参拝の作法



皆さんは神社参拝の方法はどこで学ばれましたでしょうか。

多分、大半の方は「親から」「他人を見て見様見真似で」の2パターンかと思います。

失礼ですが、親はそのまた親から学んでおり伝言ゲーム的な不正確さである可能性があり、また、間違った他人を見様見真似することによって間違った参拝者になっている可能性もあります。

実際に大規模な神社に行きますと、一部の方が両手を組み合わせてキリスト教徒のように祈っていたり（他宗教の作法は絶対ダメです）、あるいは無茶苦茶な参拝作法で通していたりと、もはや目のやりどころに困る状態です。

神社神道二千年超の歴史は、このようなセオリー外の参拝を許しません。たかだか50年の歴史で生まれた変な

参拝作法が二千年超の歴史に勝るなどありません。

この章では、正しい参拝法を。そしてその上の究極の参拝法を学んで頂ければと思います。

## 1. 参拝の基本

### 100点満点中100点の参拝方法

結局、参拝方法において何が正しいのかと申しますと、「神社庁」の「公式見解」が唯一現代における参拝作法の正当正式100%と真ん中で正解なわけです。

いわゆる「二礼二拍手一礼」というのがあります。

- ・二度深いお辞儀をする

- ・二度拍手を行う

- ・一度礼をする（この最中に<sup>きねん</sup>祈念をする）

これは大変スタンダードかつ当たり前に行われ、当然

ながら1000点の参拝方法です。

しかし、あなたにはさらに上の「2000点」を狙う古式ゆかしい大変丁寧な参拝作法をお伝えします。

1000点満点中2000点の正しい参拝作法の心とは？

日本神社神道の神様達は「うかがい知れぬ高みの存在」ゆえに、私達がより平身低頭に参拝すればするほど、よ

り低き低きに寄り、より丁寧丁寧に寄れば寄るほど客観的に見て正しい参拝方法となります。

神様と人との差というのは、サイズ感で言えば太陽とゴマ粒一個ぐらいのサイズ感の違いがあります。

事実、そのような気構えで謙虚に謙虚に小さく控えめに申し訳なく、しかし礼儀をその中でも重んじるべく背筋を正して参拝するのが正しい参拝者としての在り方です。

また、神社神道の神様は横柄な参拝者を見ません。

「観光」だと思つて参拝される方は眼中に有りません。

観光の者は観光の場所に行くのが当然です。神社に行くものではありません。決して神社を観光名所の海岸の珍しい岩などと同列に扱つてはなりません。

正しい心と正しい願意（ねがいごと）と正しい作法を持つた者のみが、神に願意（ねがいごと）を届けることになります。こ



れは、必ずです。

そして、過剰に正しい心と過剰に正しい願意と過剰に正しい作法を持った者が参拝した場合、必ず神に祈りが届きます。それは無碍むざにはされない祈りです。

ですから、人は本来過剰に正しい在り方で神社参拝をすべきだと、私は強くお伝えしたいのです。

それでは、この200点の参拝について、それぞれの

場面ごとに、より詳しく解説していきます。

## 2. ルールの確認

まずは大前提となる細かいルールを確認していきましょう。

- ・ 写真を撮らない

↓どの神社も皇居より間違いなくとうと貴い場所である。撮影すれば即座に参拝から観光に落ちることと知るべし。

・正中せいちゆう（道の真ん中）を歩かない。神社によるが、指定がなければ左側の端を歩く

↓正中せいちゆうは神の通る道。人間が通るべき道ではない。右を歩くのも貴とうとい行ないなので、（石畳など）通り道と言える中で最も身分の低いルートと言える左の端を歩くこと。伊勢神宮内宮など指定がある神社では右端を歩くこと。

・正中を通る時には本殿の方向に向かって一礼して申し

訳無さそうに通る

↓「大神様の<sup>おおかみさま</sup>大前<sup>おおまえ</sup>を失礼ながら通らさせていただきます」  
という心持ちで一礼をする

・<sup>てみずや</sup>手水舎は参拝時には必ず使用する

↓「穢<sup>す</sup>れ<sup>がれ</sup>」という、私達人間が持つ「霊的な悪臭」を落とす設備その①である。

水が流れており不浄な感じでなければ必ず使用するのと。不浄な感じなら致し方ないので無視しても良い。(京

都府京都市東山区の某縁切りで有名な神社のように水草  
ボーボーの手水舎などはかえって使用しない方がよい

・鳥居は必ずくぐる。鳥居の前で一礼を欠かさない。

帰りはくぐった後に本殿方向へ向け一礼をする。

↓穢れ<sup>けがれ</sup>⇨霊的な悪臭を落とす設備その②。鳥居はまた人の領域と神の領域を分け隔てる<sup>わけて</sup>貴い設備<sup>とうと</sup>でもある。

・17歳以上の参拝者はおごそかにする。ヘラヘラとせず、真剣にしていること

↓「観光ではなく参拝」を肝に銘じ、大人なら大人らしい態度で参拝をすべきである。

・特徴的な他人を見たとしても口にしない

↓参拝中に軽口を叩くと、それは観光という次元に下がってしまふ。留意すること。

・神社の境内<sup>けいだい</sup>では詳しく物を言わない。参拝に集中し、神への畏敬<sup>いけい</sup>を研ぎ澄<sup>と</sup>ます

↓多少黙っており、祈念<sup>きねん</sup>を前にして緊張しているぐらい

の状態の方が神への敬意ある在り方としては適切である。家族で参拝する際、家長かちやうは特に黙っておき、ヘラヘラとした家族を注意するように。

・賽銭は投げない。賽銭箱に静かに落とす

↓ゴミじゃないんだから投げない。投げてよこすようなものをよこすな。

・（できれば）境内のお手洗いは使わない。

↓無理不可能が伴う人も居るためこの項目は無視しても



良いが、より穢<sup>け</sup>れ<sup>が</sup>の無い状態で参拝するためには一応  
推奨される。

・神職（神社の職員。神主さん等）に礼をする時は浅く。  
神様に礼をする時は最大限深く。

↓神に深々と下げる頭で人にも深々と頭を下げるんじゃない。  
あない。神職はただの設備管理者であり代理祈祷者で  
しかない。ちよいとした礼に留めておくように。神社  
の中ではね。

・ご祈禱時、ど真ん中に座らない。真ん中は開ける。

↓神前で堂々たる横柄おうへいを発揮するのはよろしくない。祈  
禱殿で座る位置は左前列が理想。2番目に良いのは右  
前列。

### 3. 家で行う準備

神社神道では、不浄ふじようを落とす行為を「禊みそぎ」と言います。

禊みそぎの方法は主に2つ。単純に風呂やシャワーを浴びるか、祓戸大神はらえどのおおがみという神様に祝詞のりことを捧げるかのどちらかです。

後者は「7. 空すいていたら祝詞奏上のりことそうじょう」にて解説します

ので、ここでは前者についてです。

神社参拝の前や朝などには、お風呂に入って身を清めましょう。シャワーでも可です。夜風呂派も等しく、神社参拝前は入浴（シャワー）をして下さい。

前述の通り神道では、「穢けがれ」といった霊的悪臭が大変忌み嫌われる存在となります。

この「穢けがれ」は知らず知らずのうちに私達の中に溜まっ

ているものとされています。

神社の様々な参拝までの手水舎・鳥居といった設備は、この「穢」を人間から洗い落とすためのものです。また、多くの神社が常に最上級の衛生状態で保たれているのも、不衛生から「穢」が発生すると信じられているからです。

まずは、物理的に洗う事が重要です。神社参拝の前にはお風呂！シャワー！と覚えましょう。

また、微妙な効果しか得られませんが、風呂場で頭の

上から日本酒を80 ml ～ 200 ml 程度かぶったり、日本産の海塩を頭の上から手でひとつかみ程度とってかぶったりもより有効です。（そののち、5秒後以降にはお湯や水やシャンプーなどで洗い落としても大丈夫です）

### 推奨される服装とは

ほつれている衣服や、洗っていない衣服は避けるべき

です。

一番の推奨は礼服やスーツ、女性は正礼装です。男性はネクタイが似合うくたびれていない、クリーニンングから出して日が浅いようなスーツを。女性はできれば真珠のネックレスが似合うような服装や和装をどうぞ。

これは霊能者としての話ですが、基本的に神様は人の容姿や服装に興味関心はありません（極上の正絹しょうけんの着物だったら別ですが）。

しかし衣服というのは心の状態を作るものになります。正装で神社に参拝した上、だらしなくする事は難しいのだと言えます。

私は仕事で参拝をさせていただく際には基本的にはオーダーメイドのスーツとネクタイと、上質な靴と鞆でいる事が多いかと思えます。

事実としては「自分の心を作るのが衣服」という意味



しか無いのですが、天皇陛下が天空を拝むぐらいの角度の先に存在するとてつもなく偉い神様のお社に参拝するにあたり、きちんとした服装を心掛けることが最善かと思えます。

### 参拝当日の言葉使いに注意

その日の参拝後まではあまり悪しきことを口にしない

で下さい。

これは霊能者特有の霊視による情報ですが、神様が観測している情報のうち、その人のその日一日の発言が含まれているようです。

仲の悪い身内に暴言を吐いて家を出て、良い子ぶって参拝をしてもなあ。というところですよ。

参拝をされるその日は、できれば悪しきことは口にせず神社まで参りましょう。

また、「2. ルールの確認」にも書きましたように、17歳以上の大人でしたら境内でもヘラヘラ、キヤアキヤアとせず、緊張してご参拝下さい。

（16歳以下には神様は極めて甘い見方をします。なんなら元気で笑顔なのが一番良いかと思ひますし、小さいお子さんならご祈祷中に元気に泣いてぐずってしまうぐらいが一番良いかと思ひます。ご自由にどうぞ）

## 参拝する神社の下調べ

当然といえば当然の話ですが、「神社の名前」と「神様のお名前」は最低限頭に叩き込んでおきましょう。

「よくわからないけどなんか神様お願いします」では、人間レベルに落とし込むと、「あなたは名前も知らない偉い方に頼み事をするのか？」という事になります。

人間同士ですら、普通だったらそんな行いをすれば無礼でつまはじき者です。

偉い方に物を頼む時、どこどのだれだれぐらいは最低限知らなければ、物を頼む権利すら無いのが当たり前です。

もう少し突っ込んで書きます。

仮に「トヨタ自動車」の「豊田章男会長」に「何らか

のお願いごとができる」として、「なんか会社やつてるえらい人でしょ？」などという半端な気構えや事前知識で会う人など世の中のどこにも居ないという話です。

皆さんが上記のシチュエーションにあたるのでしたら、お名前はさることながら、語り尽くせないぐらいの事前知識を頭にモリモリ叩き込んで、お願いごともきちんとしたものを考えて、どのようにお話をしたら良いのかな

あと最低でも∞時間∞時間はウンウン悩んでから本番に挑むはずです。

その「トヨタ自動車の豊田章男会長」よりも「神社の神様」の方が一兆倍は偉いのです。

それが真理です。

一応はお手持ちのスマートフォン等で簡単にでも構いませんのでどのような神社か、どのような名前前の神様か、

その神様はどのような働きをされたどのような神様か、は知ることが出来ます。

より良い参拝を目指すのであれば、当然お調べになつた方がよろしいでしょう。

さらに深く知るには日本神社神道の神様達の神話をなぞるのが大変良いかと思ひます。

なお推奨図書は第一章の「2. 正しい神の認識」にてご紹介済みです。



この項目では、神社参拝は単なる形式的な行為ではなく、心と身体と頭での準備が必要であることを説明しました。

適切な身の清め、服装、言葉遣い、そして事前の調査と理解が、神社参拝というものを「現実を変えるための儀式」へと深化（しんか）させていきます。

## 4. 神社参拝（参道）

### 鳥居をくぐる

神社にはほぼ必ず鳥居がございます。鳥居の存在理由というのは一般的には「神域（神様のいらつしやる領域）と人域（人のいる領域）を分け隔つもの」とされていていま

す。

そもそも鳥居には鳥居之祓とりいの はらえといった祝詞のりことが存在します。つまり、そこを通らさせて頂くだけで祝詞のりこと（神様にお捧げするうた）を唱となえる、というのが極々一部の神職や信心深い中でも相当な参拝者の中では行われております。

以下に「鳥居之祓とりいの はらえ」の文面を記します。5分で暗記できるほどに短文です。

100点満点中200点の正しい参拝作法を行うには、

これを鳥居の前で必ず奏上（祝詞などを読み、捧げる事）  
するようになして下さい。

## 鳥居之祓

### 【原文】

神の在座鳥居に伊禮ば

此身より日月の宮と安らげく

す

【読み】

かみのます とりいになれば このみより ひつきの  
みやと やすらげくす

神社にて鳥居をくぐらせて頂く際には、毎度深めに頭  
を下げ、上記を読み上げて下さい。そして、くぐらせて  
頂きます。鳥居がある度、毎度です。

鳥居ではない大きい門があつた場合は、その中ほども唱えます。（どうも大きい門は靈的には鳥居扱いである場合が多いようです）

帰り道では、鳥居をくぐつたのちに後ろを向いて毎度「鳥居之祓<sup>とりいのほう</sup>」を奏上<sup>そうじょう</sup>（読み上げ）します。

私は毎度必ず行なっています。簡単に暗記できる祝詞<sup>のりこと</sup>なのでぜひ暗記を。難しければ本書をカンペにして頂いてぜひ行なつて下さい。

このように門（鳥居）をくぐるだけで祝詞のりことを唱えるべし、というほどに相当な設備が鳥居です。これを素通りしてしまうのはよろしくない。

上記の祝詞のりことを覚えきれない人やスキップしたい方が居ても良いかとは思いますが、せめて最低限でも鳥居には毎回一礼は致しましょう。

また、当然ながら帽子を被っている方は脱帽（帽子を脱ぐこと）しましょう。なんなら参拝時は最初からかぶ

らないことを推奨します。

どうして鳥居はくぐるべきなのか

なぜ鳥居をくぐるに際して、礼をするべきなのか。

鳥居というのは「穢（ケガレ＝靈的悪臭）をフィルタリング（除去）する装置」であるそうです。

神様は究極的にとてつもなく清い存在であり、人間は



究極的にとてつもなく汚い存在です。その悪しき成分を取り除こう、という設備が鳥居なわけです。

逆に鳥居をくぐらない奴は究極的に清い存在のところに「わざわざ」究極的に汚い成分を一生懸命持ち運んでいる「邪じやの者」であると言って差し支えありません。

火事場にガソリンを持ち込んでくる馬鹿と一緒にレベルでNGです。宗教上の理由や個人の感想やジンクスなんぞ関係ありません。

「くぐらないなら絶対に来るな」と言っても良いでしょう。鳥居は通りましょう。通らないとダメです。

また、鳥居をくぐらない人を私や、知識のある一部の方は「例の新興宗教団体の人かな」と見てしまいます。

多分実際には1割もそんなことは無いのだと思います  
が、そういった特異な目で見てしまう人も少なからず存在していますので、とにかく鳥居はくぐって下さい。

特に伊勢神宮内宮の宇治橋うじばしの両端の両方の鳥居。くぐらなすぎです。せつかく遠方から来られたのに、これだけで不躰ぶしづけな観光客扱いをされて神様に願いが届かなくなってしまうのは本当にもつたいない。

なお、大前提として、後述の「参道を歩く」でも書きますが、鳥居の内側左に立ってくぐるようにして下さい。（ただし、一部の右側通行の神社では内側右に立つ場合

もあります）

## 参道を歩く

私は専門家として参拝をし過ぎたせいで、参道を歩く人を見るだけで、神前で礼をする人を見るだけで、その人物の信心の深さや教養の高さが推し量おはかれてしまいます。参道の歩き方一つとっても、神様の実在をしつかりと

感じ取り、畏敬いけいの念を払っているのかが伺えます。

逆に百年千年同じ神社で祈られてきた神様からしても、その参拝者の作法の出来栄できばえから畏敬いけいの念を推し量れる事もあるのではないでしようか。

参道を歩くにはまず、考え方としては皇居の100倍ぐらいとうじ貴い場所を歩かせていただくという気構えが必要

です。

そうなると頭こぶしを垂たれすぎてイモムシのように地を這つてズリズリと参拝するのが妥当だという話になります。

（半分はジョークです）

が、それではどうやら極めて醜みにくいということで、致し方なく背筋をピンと正して、石畳など歩いてよろしい箇所のうち、ギリギリのギリギリの左端（正中せいちゆうは貴とうとい位置

のため、最も卑いやしい位置として）をキビキビと通らさせていただくという事が正しくあります。

家族で来たとして、それが観光を目的としたものではなく参拝を目的としているのであれば、モタモタせず縦一列でしっかりと進みます。

（※伊勢神宮内宮など一部の神社では左端ではなく右端を通ります）

「恐おそれ多くも大神おおかみ様の大参道おおさんどうを歩かさせて頂く」という

精神性<sup>スピリチュアル</sup>で、プライドをもつて行動を正し続けて歩きます。  
この時点で神様はきつと、「なんと優れた考えと行動の  
参拝者が来たのだろうか！」と、必ずお気付きになられ  
ます。

### 参道の真ん中は「神の通り道」

常識の範囲内のことですが、神社において参道のど真



ん中は「神の通り道」です。人なんぞが通る場所ではありません。人で通って良いのは戦前まで現人神（あらひとがみ神でありながら人の形を取っている存在）とされた皇族のみです。もしくはギリギリで儀式中の神職（しんしよく）ぐらいです。

ど真ん中を通るのは、参拝者ではなくただの観光客がやる事です。参道の構造により真ん中を通らざるをえない場合は、「恐れ多くも大神様（おおかみさま）の大前を通らさせて頂く」という気持ちで本殿方向へ一礼して通りましょう。

（ちなみに、参道に石畳と砂利がある場合は石畳を優先して通って下さい。これもまた、石畳のギリギリを歩かれるとよろしいかと思ひます）

混み具合と参道のサイズ感によつて真ん中を通らざるを得ない場合は、致し方なく適當でもよろしいと思ひますが、「高潔（こうけつ）（気高く立派でいさぎよい）な参拝者が来たぞアピール」が神様へ向けて一番できるのがこの歩き方

になりますので、なるべくは行なつて下さい。

また、「左端を歩く」「真ん中を通るな」というのは神社神道のオフィシャルの話ではなく、民間で言われた話というのは基盤になっているただの「一説」にしか過ぎません。

しかし「より低きを選ぶ」「より丁寧を行なう」「より神様を尊ぶべく動作所作を選ぶ」といった参拝者として

の正しい在り方としては間違いない話になりますので、私はこの方法論を大変良いものとして取り扱っている次第です。

### 参道の横にお社が見えた場合

この場合、そのお社に向き直って一札を致します。

「恐れ多くもお社の大前（前）を通らせて頂きます」

という気持ちを持って一礼をしましょう。

ちなみに神職（神社の職員・いわゆる神主さん）でさえ、これはあまり行わない事のようにです。

この作法を行なっているのは、私の知る限り日本最古の神社と言われる奈良県「大神神社」のみですが、神様の前を素通りするのはやはりよろしいことでは有りませるので、この作法は正式正当な正しい作法だと私は考えております。

これも行き帰りに行いましょう。参道横に大量にお社がある場合は、省略せず全て行いましょう。

たとえば伏見<sup>ふし</sup>稲荷<sup>いな</sup>大社<sup>たいしや</sup>のコンビニ前の大鳥居<sup>やしろ</sup>をくぐった先、15秒ほど歩いて左手にはお社<sup>やしろ</sup>が3つ並んでいます。神道では3つが横並びの場合は「真ん中」「右」「左」の順番で貴い<sup>とうじ</sup>とされていますので、同じく「中央」「右」「左」の順番で一礼をして通らせて頂きます。

これもまた大變に優れた「高潔こうけつな参拝者が来たぞアピール」になります。

神様に参拝者として特別視していただくためにはプラスになる技術だと言えます。

## 5. 手水舎（てみずや）の役割と作法

手水舎とは、手と口を洗い清めるための設備です。

手水舎の正しい作法は複雑なため、次の動画の20秒を参考に、知識のベースとして下さい。

伊勢神宮オフィシャルの動画です。



【伊勢神宮】 手水と参拝の作法



<https://www.youtube.com/watch?v=MHmPzl56IzM>

(※リンクを開けない方は、YouTubeで「伊勢神宮 手  
水 作法」で検索して下さい)

上記の動画に加えて私の推奨する、より丁寧な手水の手順は次の通りです。

- ① 一揖（いちゆづ）（軽いお辞儀）を手水舎にする
- ② 右手で柄杓（ひしやく）を持って左手を洗う
- ③ 左手で柄杓（ひしやく）を持って右手を洗う
- ④ 右手で柄杓（ひしやく）を持って左手で水をすくう

⑤ 口をゆすいでそつと吐き出す

⑥ 右手で柄杓を持って左手を洗う

⑦ 柄杓を縦に立てて残った水でひしゃくの柄（手持ち部分）を洗い流す

⑧ 柄杓を元の部分に戻す

⑨ 手水舎てみずやに一揖（軽いお辞儀）をする

という順番となります。

これらの説明でこんがらがる方は、

「札・左右左ぐちゆぐちゆ・左・洗って元に戻して・  
札」

で覚えましょう。あとは先程の動画を見ていれば問題  
はないかと思えます。

また、コロナ禍を経て「竹から水が出る、柄杓ひしやくのない

手水舎てみずや」というのが日本各地に多くあります。

これは文化の敗北と言える現象で、作法という概念が崩壊した物だと捉えて自由な作法で行なってくれて良いものになります。

しかし、右手左手を洗い口はゆすぐ、というのは必ず行なって下さい。

手水舎てみずやの意味とは

これもまた鳥居と同様に、究極的にとてつもなく清い存在である神様に対して、人間は究極的にとてつもなく汚い存在であるがゆえに、その悪しき成分を取り除こう、という「禊みそぎ」のための設備となります。

本来は神社の脇の川に白い着物を着てドボンとやって頂くのがよろしいのですが、それは一部の超大規模神社で神職が行うものでありまして、それがかなわぬ我々は、

その代わりに手と口を清める事で、そこまでは行きませ  
んが清め祓はらわせて頂くというのが手水舎てみずやという設備にな  
ります。

究極的に清い存在である神様のお社に参拝をさせて頂  
くに際して、最も清め祓えるようになってるのがこの  
手水舎てみずやです。鳥居1個の9倍や10倍は禊みそぎの能力が高いの  
だと言えます。

参拝前の最重要設備といっても過言ではありません。

スルーした場合はすぐごと戻りましょう。

また柄杓ひしやくがある手水舎てみずやの場合は、ちゃんとした作法で行えるまで必ずやり直す事が重要かと思えます。何度間違ったとしても、神様のために清め祓うのに万全を期す事であれば大変に良いことです。

私はご相談者様の神社参拝に同行した際、申し訳なかったことを覚えていますが、「やり直し」と6度ぐらいや



り直させたことがあります。

究極の参拝を行なうに際して、それだけ重要なものと  
考えて頂ければよろしいかと思えます。

## 6. お賽銭について

まず、お賽銭は投げないようにして下さい。失礼です。  
前述しましたが、「投げてよこすような物をよこすな」  
です。お賽銭は、賽銭箱に対して「するりと流し入れる」  
事が重要です。

お賽銭の金額は、硬貨なら2枚以上（2円）1000

円までなら幾らでも）が推奨です。

お札であれば、1枚でも2枚でも札束でも問題ありませんが、できれば一緒に硬貨を2枚一緒に入れて下さい。なぜなら、硬貨の音によって「あ！ 人だ！」と神様がお気付きになられるパターンも無くはないからです。

これは、あまり参考にしないで良いのですが、私は毎回財布の小銭全額を入れています。

神の社<sup>やしろ</sup>であつても、二千年続くのか八百年続くのかはやはり収益に依<sup>よ</sup>るものも大きいでしょう。私はその永遠性に投資している気持ちで、一応の精一杯として、毎回小銭全額をご奉仕しています。

基本的には2円でも3円でも、神様には関係ありません。あるいは20万円からは、神社の継続に必要な資金の奉納であるとして換算をされるようです。

それよりは心が最も大事なので、賽銭はこだわらず2

枚以上を適當に、で良いかと思ひます。

なお、1円玉の両替手数料が500枚で550円掛かる關係で「1円のお賽銭は入れてくれるな」という神社の都合の話が有ったりしますが、私は無視して財布の小銭を全部入れています。神社的には金額的には黒字なのと、私なりの「全力でお賽銭をお入れしている」という心意氣に繋がるためです。

## 7. 空<sup>す</sup>いていたら祝詞奏上

さて、この参拝方法の解説も大いなる神様の前にやつて来るまでに至りましたが、祈念<sup>きねん</sup>の前に「できれば」行なっていただきたいワンステップがあります。

前述の「穢<sup>けがれ</sup>」を無くすための風呂・シャワー・鳥居・手水舎<sup>てみずや</sup>以外の方法である、「祓詞<sup>はらいことば</sup>」です。

うかがい知れぬ遠くの高みの空の向こうにいらっしや  
います「祓戸大神はらえどのおおがみ」という、禊ぎ祓みそはらう（清くする）四柱しはしら  
（神様の数え方の単位は柱です。つまりは4つの神様。）  
の神様に向けて、周囲に参拝客や並んでいる方々が居な  
ければ、祝詞のりとを奏上そうじょうしましょう。

また、その際に他の参拝者の邪魔になるようでしたら、  
横に逸れて奏上しましょう。伊勢神宮などの超大規模神  
社のように参拝者が多い場合や、年始や大祭の折などで

混み合っているときは、行わないか、横に逸れて奏上した後に列に並び直して参拝したほうがかえってよろしいかと思います。他の参拝者に迷惑を掛けないことを優先して下さい。

では「祓詞<sup>はらいことば</sup>」という祝詞<sup>のりこと</sup>を記載致します。もちろんカ  
ンペ可です。

重要なことですが、この祝詞<sup>のりこと</sup>は「神様に願い事を祈る



ために行なうもの」ではなく、「清くなつて神様に祈るに  
足る良い状態にしていただけるよう、神様に祈るもの」  
になります。

またこの祝詞のりことをよむ際、本殿の神様の方向へ向けて祈  
るのではなく、自分の真上の天空に「4つの（四柱の）  
神様がいらつしやる意図で、そちらに向けて祈って下さ  
い。（上を向かなくても大丈夫ですので、意識だけでもど

うぞ)

この「天空」という座標の話は大変重要です。本殿の中央は「その神社の神様がいらつしやる(と考えるべき)座標」であり、はるか頭上の天空は「伺いしれぬ高さにいらつしやる神様の座標」になります。祓詞はらえことばは後者になります。よく意識をして下さい。

まず一揖いちゆ(軽いお辞儀)、そして二礼(深いお辞儀)を

してから、以下を奏上そうじょう（大いなる神様に対して声を出して読み上げる事）します。（※できればゆったり美しく読むようにどうぞ）

【祓詞はらふことば】

【漢字】

掛けまくも畏かしこき

伊邪いざ那な岐ぎ大神おおかみ

筑紫つくしの日向ひむかの橘たちばなの

小戸おどの阿波岐原あはぎはらに

禊みそぎぎ祓はらえへ給たまひし時に 生あれ坐ませる祓戸はらえどの大神おおがみ等たち 諸もろ々もろ

の禍事まがごと 罪つみ 穢けがれ 有あらむをば

祓はらへ給たまひ清いめ給たまへと 白まをすことを聞きこし召めせと 恐かしこみ

恐かしこみも白まをす

【読み】

かけまくもかしこき いざなぎのおおかみ つくしの

ひむかの　たちばなのおどのあはぎはらに（※あわぎは  
らと読まずあはぎはらと読むのを推奨。音の美しさから  
多くの神職がそうしているため）

みそぎはらえたまいしときに　あれませる（※通常は  
「なりませる」だが、霊能者としては「あれませる」を  
推奨）　はらえどのおおかみたち

もろもろのまがごと　つみ　けがれ　あらむをば　は  
らえたまいきよめたまえと　まをすことをきこしめせと

かしこみかしこみも　まをす

上記を奏上（そうじょう＝読み上げること）の後、二回拍手を行い、そして一礼しながらその際に口には出さず心のなかで以下を心の中で祈念（きねん）します。

「祓戸（はらえど）大神（おおかみ）たち、大神様（おおかみ）の大前（おおまえ）にてこれより祈念（きねん）申し上げるに際し、私（わたくし）を（on 私共を）祓（はら）い清めて頂けますよう、

恐れ多くもお力を頂戴たまわりたく存じ奉ります」

（※この際の祈る先も頭を下げる先も「はるか頭上の天空」と意識して下さい）

そして最後に一揖（軽いお辞儀）をします。

これによって祓戸大神様という「清く」して下さる神様達に正式にご祈願申し上げる事ができました。

ちなみに霊能者としての補足ですが、「神の祈るために

清くしてくださる神様」である祓戸大神達が神職ではなく霊能者でもない皆さんの祈りに応えて下さるか、ですが、気持ちさえ入っていればきつと届くはずなのと、実際は応えて下さらなかったとしても儀式・作法的には極めて正しいので、この後の「御祈念」に至るまでには大いにプラスのことなので問題はないと考えて下さい。

ここまで、家での禊から手水舎からの鳥居、そして祓



詞<sup>ことば</sup>ここまで全て行なっていれば究極的に清い状態となり、  
神様に御祈念<sup>ごきねん</sup>申し上げるのに足る、素晴らしく綺麗な状態になりました。

なお、ここで紹介した祝詞<sup>のりこと</sup>は一般的に出ている祓詞<sup>はらいことば</sup>と多少細かな違いがあります。

これらは様々な神社で祈祷を受けさせて頂いた中で、  
神職さんが祝詞<sup>のりこと</sup>を奏上されている際に、様々な祓詞<sup>はらいことば</sup>を記

憶し、その中でも部分部分でより丁寧な言葉を選んで構成したものとあります。そのため、一般的なものよりもほんの僅かですが丁寧になるかとは思いますが。

（祝詞は全く同じものを全ての神社で奏上するものではなく、神社毎にある程度個性があつたりします）

## 8. いざ参拝と祈念

ここまで来ますと、あとはご自由に参拝を、と思いきや、正式正当な正しい作法がございます。

みなさんの知っている二礼二拍手一礼ではなく、

「二揖・二礼・二拍手・一礼・一揖」です。

一揖<sup>いちゆづ</sup>とは、本書ではたまに書いていますが軽いお辞儀です。角度的には20度とされています。

そして一礼とは、約90度（のつもりで70〜90度）の最敬礼となります。

一揖<sup>いちゆづ</sup>の際は、両手のひらは両ふとももの斜め後ろに持つてきて20度〜30度の礼をします。

二礼の際は、いわゆる「起立」をした状態から、手を太ももの上を膝の頭まで上体の傾きと一緒にすべらせる

ように持っていていき、手を膝に付いた状態で、腰を70度、90度に曲げ最高に深いお辞儀をします。

二拍手の際は、ある程度腕を前方面面に突き出し、両手をピッタリ合わせ、それぞれの指先を真正面に向け、左手はそのままに右手のみを手前下にならします。

この手前下にならした際に、右手人差し指が、左手人差し指の付け根あたりに来るあたりがベストポジションかと思えます。

横から見て、左手の人差し指が時計の短針、右手人差し指が時計の長針として「3時40分」になるような角度のズレがベストです。

その状態で、二拍手を自然に行ないます。

その後、二礼の際と同様に最敬礼の角度で一礼を行ない、礼をしたまま最大限の畏敬いけいの念を神様に持ちながら祈念きねんを行ないます。この際、周囲の参拝者が居るとしても焦りすぎず、早く頭を上げるように焦らなくてきちんと

と祈念<sup>きねん</sup>し切ることがポイントです。

最後に20度ほどの小さいお辞儀である「一揖<sup>いちゆ</sup>」を加えて、祈念<sup>きねん</sup>が完了致します。

ここまで行なうことで、神様にも「最高の礼儀を持つて参拝しに來た人間だ」と、その姿が必ずや伝わります。

祈念<sup>きねん</sup>内容は、日本語的に「やんごとなき（大変貴い）  
お方に恐れ多くも申し上げる言葉」であると素晴らしく

よろしいかと思ひます。そして、仕事に關しての祈念内容であれば、「世のため人のために尽くさせて頂きたく、祈願申し上げます（申し奉ります）」のような形式がベストです。

祈願したい内容が特段ない場合は「大神様の御力添えによりまして、日々良き日を過ぐさせて頂けております。平身低頭、感謝し申し奉ります」などがよろしいでしょう。



## 9. ご祈祷を受ける場合

神社における「ご祈祷<sup>きとう</sup>」とは、最低5000円をお支払いし、神職<sup>しんしやく</sup>さんに代理で神様に食べ物やお酒等をお捧げしていただき、かつ代理でお祈りをしていただく事を言います。

通常の参拝との違いは、参拝よりご祈祷を受ける方が

「より正式正当な選択肢」であり、「より神様の近くに寄つて、きちんと長時間祈りが捧げられる」という部分にあります。

敷居が高いように思われがちですが、お金をお納めして指示に従っていれば「玉串奉奠<sup>たまぐしほうてん</sup>」以外はほぼほぼそのまま完了するようなものです。

そのため、どうしても叶えたい願いがある方は、私の説明する参拝法に加えてご祈祷をぜひお受け下さい。

## ご祈祷の流れ

実際のご祈祷の流れは次の通りとなります。

### 1. 開始の合図（無い場合もある）

主に太鼓等で合図が行われます。無い神社も半数程度

です。

スマートフォンなどは電源をお切りいただくように、などの指示が入ります。

## 2. 神職による祓詞はらえことばの奏上とお祓いはら

第二章の「7. 空いていたら祝詞奏上」にあるのと同じ、「祓詞」を神職さんが奏上（読み上げ）します。その

間、頭を深く下げます。

読み終えた後、頭を上げます。（指示がある神社とない神社があります）

その後、通常は奉納されたお酒やお捧げ物を神職が祓串（紙のワサワサ）で祓い清めてから、我々の方に歩いてきまして、「お頭をおさげ下さい（頭を下げてください）」と言います。

指示に従い頭を下げますと、神職が左・右・左と祓串

で私達を祓い清めて下さいます。

その後、「お直<sup>なお</sup>り下さい（お頭<sup>かしら</sup>をお上げ下さい）」と言われ、頭を上げます。

これにより、前述の「第二章の7」に同じく、神様にお願いをしても良い程度に靈的に清い状態に皆さんがなります。

### 3. 神職によるご祈<sup>き</sup>禱<sup>と</sup>

神職がご祈祷を行ないます。ここでは神社固有の祈祷文や一般的なもので、神様をたたえてから「このような願い事の人間が居るので、どうか叶えて差し上げて下さい」というのを古い言葉で神職が代理でお願いをされます。

いつお願いをすれば良いのか誰もが混乱するところですが、正解は「自分の住所が読まれたら心のなかで願い

事を申し上げる」というのを覚えておいて下さい。

4. (場合により) お神樂かぐらの奉奏ほうそう

伊勢神宮であれば1万5000円以上のご祈祷の場合に、その他神社でしたら有無が半々に別れますが、場合によりここでお神樂かぐらがはじまります。

お神樂かぐらとは、神様にお捧げする舞踊のことを言います。



特徴としては、奥の方（つまりは神様のいらっしやる方）へ向けて舞われることで、私達祈禱者には基本的に背を向けて舞われます。

（伏見稲荷大社では専用の神楽舞台から稲荷山に向けて神楽が行われるため、記憶ではその逆だったかと思ひます）

## 5. 玉串奉奠（もしくは拝礼のみ）

これは神社によりますが8割の神社では行なうことになりません。

行わない2割の神社では「二礼二拍手一礼のお作法にご拝礼下さい」と言われますので、一揖（浅いおじぎ）を前後にせずにそのまま二礼二拍手一礼で再び祈念を行ないます。

さて、以下の玉串奉奠（たまぐしほうてん）については覚えておかなければ

恥ずかしい思いをしますので、よく読み返すようにして  
下さい。

玉串<sup>たまぐし</sup>とは榊<sup>さかき</sup>の枝に紙垂<sup>しで</sup>（お祓い棒に付いているワサワ  
サしたもの）が付いているもののことを言います。これ  
に願意<sup>がんい</sup>（お願いごと）を込めて神前に捧げるのが玉串奉奠<sup>たまぐしほうてん</sup>  
になります。（奉奠<sup>ほうてん</sup>＝つつしんでお供えをすること）

文章ですと通じにくいため YouTube などの動画をご

覧頂いたほうがよろしいかと思いますが、以下に玉串奉奠の作法を書きます。ご祈祷待ちの際の最終確認などにお使い下さい。

一．「ご代表の方、前へどうぞ」などの神職の指示により、立ち上がり前に進みます。

二．玉串を神職に差し出されますので、右手で「枝元」を上から手でかぶせるように持ち、左手で「葉先」

を下から支えて横向きに受け取ります。

三．玉串を置く台の前まで進み、軽く一礼をします。

四．玉串を右に90度回転させ、両手で枝を自然に持ちます。このとき、玉串の根本が手前に、葉先が奥にある状態になります。

五．玉串を垂直に立てて、願い事が玉串に宿るように祈念をします。

六．右手を葉先にかぶせ、枝元が櫛を置く台の方を向く

ように右に180度回転させます。

七．  
左手を右手があるところまで手前にスライドさせ、  
神前に枝元が向くようにして玉串を捧げます（台に  
置きます）

八．  
祭壇に向かい、「二礼二拍手一礼」で祈念します。こ  
のとき同行者がいる場合は、拍手を「後ろから見  
てもわかるような大きな手振りですることで、同行  
者と息をそろえることが狙えます。

九・ 神前に向けて一礼し、席に戻ります。（この際に神前にお尻を向けないように注意）

6・ 神職さんの終了のあいさつ・お下がりのお渡し

神職の「皆様のねがいごとをつつしんで大神様にお捧げ致しました」などの挨拶があります。

第二章 2 のルールの確認に書きましたように、「神職に

礼をする時は浅く。神様に礼をする時は最大限深く」を  
思い出しつつ、神職さんにはチョイとした礼を行なう程  
度に致しましょう。

その後、ご祈祷の御札や神様へのお捧げ物のお下がり  
が入ったセットをお受けします。

この時は「お受け致します」と一声そえて受けましょ  
う。



なぜ「頂戴します」ではダメなのかと言うと、「頂戴」は目上の人間から頂いたことになるため、神職を高く見ることになるのでややよろしくないかと思えます。

神社で高く見るのは神様だけで良い、ということですよ。

以上がご祈祷になります。

日本酒の奉納について

より高いレベルの参拝者としてご祈祷を受けたければ、基本的には日本酒の奉納をお勧めします。

日本酒は神様の大きな楽しみの一つです。

そのため、どこにでもある三級の酒の一升瓶などではなく、「量は少ないけど高くて美味しい日本酒」をお勧めします。具体的には「純米大吟醸の四合瓶」がそれに該当します。

「純米大吟醸」とは、日本酒づくりに使う米を50%以上磨いて使用した、非常に贅沢な作りの日本酒のことを指します。

神様はお捧げされた日本酒を当然召し上がられますので、それはもう良いものをお捧げした方が良いわけです。具体的には、「この参拝者は分かっている。神をきっちり崇敬している。じゃなきやうまい酒なんか持ってこないもんなあ。自分で飲むだろうし、金なんか払わんだろ」

と感じていただけるようです。

ちなみに私は最大で税込18万7000円の日本酒「鶴<sup>か</sup>齡<sup>い</sup> 純米大吟醸 特別版 鶴首」という日本酒を仕事でご相談者様と共に愛知県犬山市のある神社までお捧げしたことがあります。

奉納金額もそれなりでしたので、驚いた神主さんから後日電話が来て「なんとしてもお返しをしたい。申し訳

ない」と言われましたが、「いえ、神様にお捧げしていた  
だけだったのでしたらそれ以上のことはございませんので」  
とお断りした記憶があります。

私個人ですと、「たての楯野川 こうみょう光明」という税込13万200  
0円の日本酒を伊勢神宮に奉納したのが最高記録です。  
また普段は「瀬祭 磨きその先へセット」という税込4万  
4000円の日本酒2本セットを公私共に奉納し続けて  
います。

なぜか。当然、神様が嬉しいからです。

「日本酒好きの人」だとしても上記の品は三日三晩舞い踊るような品です。

そのため神様にお喜びいただけるのが間違いないという確証があります。その確証に値段は付けられませんので、私は断じて高級な日本酒しかお捧げしません派の間です。

皆さんもぜひそうあって欲しいですが、ハードルが高いと感じる場合は「英勲 純米大吟醸 一吟」税込5500円、「獺祭 純米大吟醸 磨き二割三分」税込5500円、「獺祭 純米大吟醸 磨き三割九分」税込2640円をお勧めします。

理由は、「スッキリとした味わいで甘みが品よく、しかしゴクゴク飲める、こう、なんというか究極の水!!のよな日本酒」というのが9割以上の神様の好みだからで

す。

※ちなみに何年も熟成させた黄金色の日本酒や、十四代などの甘さがあまりにも強い日本酒はかなり嫌いな様子があります。

そもそもなぜ日本酒なのか？

日本酒は御存知の通り米から造られます。



今でこそ稲畑は無限にありますが、その原初中の原初の種、一番最初の稲穂は神様が日本にもたらしたものである！と古事記こじきに書いてあります。

大前提、お米というのは神様がもたらした物なのです。

その神様がもたらしたものの子の孫のひ孫……という無数の系譜の末端に現代の米があるわけで、我々が普段食べているお米もまた、神様がもたらして下さったもの

の末端中の末端なわけです。

また、その生育のためには日光・水害・風害・災害の有無や育てる人間の健康までの多種多様な条件が必要になります。

これらを人は「神様に祈って」整えていただき、その御礼として「お米を捧げた」というのがお米を神様に奉納する背景になります。

更にこの米を手間暇を掛け、数百年にも及ぶ伝統と技術、そして技術革新の末に進化し続ける製法により磨き上げ作られた究極の成果物というものが「日本酒」になります。

こと、その中でも「純米大吟醸」という日本酒はその酒造所の最高の技術で作られたものになります。

つまりは、神様から頂戴した御恩であるお米を、更に人間がより高度で上等なものに手を加えたものが日本酒

である、ということになります。

そのように神様のご恩を受けながら農家や酒造所の間がリレーして作りあげた、究極のお返しこそが日本酒なのです。

人間のレベルに例えると、砂鉄をそこらへんにばらまいていたら御礼で包丁になって返ってくるようなものです。これが日本酒を選ぶべき理由です。

※ちなみに神様は断然「量より質」派のようです。

## 日本酒の奉納の方法

お近くの酒屋さんに「純米大吟醸で四合瓶でおすすめのお酒を。あと外ので紅白蝶結びで奉納 ●●家一同で」とお伝えしましょう。プロなので通じます。

または楽天市場などで「純米大吟醸 四合瓶」で検索し、検索オプションで「除外…ふるさと納税」「本数…1本」

として出てくる良さそうな四合瓶（720 ml）の日本酒を注文し、備考欄に「外のし。紅白蝶結び。奉納 ●●家一同」と書いておけばOKです。

会社であれば「奉納 株式会社▲▲従業員一同」とたとえ社員が自分1名でも書きます。

個人であれば「奉納 ●●▲▲」とフルネームを書くようにします。

それにより、ほどなくして熨斗紙のしがみの付いた日本酒が送られてきます。

これをご祈祷の際や参拝の際に神職さんに渡せば日本酒の奉納は完璧です。

また、ご祈祷の場合は「日本酒の奉納とご祈祷を一緒に行ないたいのですが」と祈祷受付で申されるとより良いかと思えます。

## 10・ 帰り道と禁止事項

参拝の喜びにあずかれたことを胸に、安全にご帰宅下さい。参道は自分から見て左側を通行しましょう。（伊勢神宮などの一部の指定がある神社は自分から見て右側になります）

途中の鳥居では、くぐった後に向き直って「鳥居とりゐ之祓はらえ」



を奏上します。

さて、ここからは参拝の際に「やってはいけないこと」をご紹介します。

縁切りは願ってほならない

京都の安井金比羅宮と、その他縁切りをメインに公式

として打ち出しているごく僅かな神社以外は縁切りを  
祈<sup>き</sup>念<sup>ねん</sup>するのはダメです。神様は全ての人の縁を作り、ま  
たご支配されているため、これを否定することは神様の  
ご意向を否定することに他なりません。

「神様の意向を否定するつもりはない」とお考えだとし  
ても、確実に真正面から否定することに繋がりますので  
絶対に辞めて下さい。

また、不浄な話ではありますが「不倫の縁結び」を願うことは、不倫をする男女の両家の家族の精神や人間関係をズタズタに壊し、どちらかの家に子供がいればその成長を最低最悪に妨げることを神様にわざわざ祈念きねんしているのと同様のことになりますので、この願いは「縁切りの願い」に換算されますので行わないようにして下さい。

以前、不倫の縁結びを北海道神宮に祈って以降、異常な聴覚過敏と身体症状に悩まされるようになった方からのご相談を受けたことがあります。

つまりは場合により「タタリ」の対象となりますので、決して行わないようにして下さい。

## 祈念きねんをする前の写真撮影

神社はうかがい知れぬ高みの存在のいらっしやる場所です。

人間レベルで言うべきではありませんが、例えばこれから何かをお願いしに行く先の「偉い地主さん」や「議員先生」の豪邸の庭先で写真を撮りまわるような恥知らずは世の中には居ないと思います。

「一般人と偉い地主さん」という彼<sup>ひ</sup>我<sup>が</sup>の差ですらそんな非礼なこととはしないというのに、不思議と人間は神社で

はバシヤバシヤと写真を撮ってしまふのです。

神様をお願いしようというのでしたら、まず写真撮影は辞めたほうがよろしいでしょう。

神社が美しいのも衛生的なのも豪華なのも金の装飾や美麗な装飾にまみれているのも、豪華に見せたい素敵な観光地だから、などという理由ではありません。

それらは全てその一片までも神様に奉納ほうのうされていて、神様にご覧いただきお喜びいただきたいからそのような美しい姿をしているものなのです。

それは我々参拝者のためでは1%足りとてありません。ゆえに、写真撮影をする権利などというものは我々には一切ありません。

神社の「観光地扱い」の最たるものが写真撮影ですから、まずはあなたが、そして同行者が写真撮影をしない

ようにお願いします。

また、私の中では基本は全ての神社では写真撮影NGですが、参拝し<sup>きねん</sup>祈念する際に「写真を撮影させて下さい」と<sup>きねん</sup>祈念した上で、ド真正面から御本殿を撮らないなど配慮ある撮影をするのであれば撮影も問題は無いかとは思います。

あるいは、最も御本殿から遠い鳥居の外からの撮影の



みであればよろしいかと思います。そこはギリギリ人の領域であるからです。

私は年間最大でおよそ30回もの参拝を行ないますが、長年続けているブログに「自分が撮影した」神社の鳥居の内側の写真をアップしたことはありません。

撮影の許可を祈念<sup>きねん</sup>した上でプロに依頼して撮影していただいた、私の結婚式の前撮り写真の一度しか無かった

かと思っています。(他では素材集の写真を使用することはあります)

どうでしょう。より正確な言い方をすれば、神社によつては神様のイラストとするポイントにもなりうるので、やはり写真撮影は辞めたほうがよろしいかと思っています。

金の事は頼むな。仕事の事は良い

お金が欲しいとかそういった祈念きねんを神様は聞き入れません。宝くじだ、ギャンブルだ、というのは論外中の論外です。それを聞き入れてあげる理由がありません。

ただ「仕事をより行う」人や社会への貢献をより行う  
「結果論的にお金が増える」という意味で、仕事に関してより良い方向へ、より沢山働ける方向へ祈念きねんする事で、それがかなった場合に結果的によりお金が生じると言う

のがあります。

神社神道の神様は人の社会的な影響を重んじます。

「金が欲しい」というのは社会的な影響を閉ざした、いわば独善的な願いのため、悪しき願いに入ります。

神様は人を使って、その人が人や社会へより貢献を行えるようにする働きをよくされます。そのため、「金が欲

しい」という方は「私を社会のために使って下さい！　頑張ります！」と心から元氣良く願うことがよろしいかと思ひます。

またこれは金運の話ですが、「金が欲しいと願う人からは金が出る」というのが世の真理です。金が金が、というのは望むべきでもなく、願うべきでもないというのをよくよく意識することが良いかと思ひます。

この章では正しい参拝の作法をかなり丁寧に説明しました。

複雑で難易度の高い参拝手法となりますが、これ以上無く、神様に対しては良い心掛けを持った参拝者として認められる正しい参拝手法となります。

一度覚えれば一生行い続けられます。ご紹介した2つの祝詞<sup>のりこと</sup>を覚えれば、なんら複雑ではなく後はスムーズに参拝ができるかと思えます。

また、ご自宅で祈念<sup>きねん</sup>や拍手の練習などもされてから参拝され、本書をカンペ代わりにしながら参拝をされますと、よりスムーズなのかなと思います。

これらの正しい手法をもって参拝をし続ければ、人生が激変するほどのご利益を授かれることは間違いありません。

## ◆第三章

参拝の心のありかた



霊能者である私が推奨をする「奥義」と言っても過言ではない神社参拝法の「心のありかた」について、ここでは惜しげなく解説をします。

まず、神社参拝をする上では神様の想いを理解することが重要です。神社神道の神様の想いを理解すること、正しい参拝方法が導き出せるからです。

何度か前述していますが、神社神道の神様は参拝者個

人への興味関心は少なく、それよりは一個人が社会にどのような影響力があるか、というもののみにのみ大きな関心があります。

これは「炊飯器やそのブランドには興味はないけど、美味しい米が炊けるのかは気になる」のような話です。

この「人間の社会的機能こそ神様の関心の対象である」というのを意識しながらこの後の項目をご覧頂ければと思います。

# 1. 神様はあなたに関心はない

## 社会的影響への関心

神様はひと一柱はしら（繰り返しますが、神様の数え方の単位は「柱」です）あたり8人×2000万人を、平均して1000人程度を支配・監督しておられるため、よほど神

様基準で面白い人間以外は特に記憶に残るわけでもなく、関心が無いに等しいのは事実です。（ちなみに「面倒なので」人を監督していない神様が圧倒的多数のようです）

逆に、前述の通り一個人が社会にどのような影響力があるのか、というものには関心があります。

主婦であれば子供や伴侶や主婦仲間や友人知人に対し  
ての好影響を、サラリーマンであれば仕事を通じた同僚

や客先の人間への好影響や仕事の社会的好影響を、医師であれば人を生かす事による絶大な好影響を、教育者であれば人を作る好影響を、自営業であれば仕事の好影響や社員への好影響を、学生や乳幼児はその未来の社会的影響の可能性を見る、ということです。

人間はさして有名な人物でも有能な人物ではなくても、全員が全員優れた社会への好影響を保有しています。

個人のことはどうでもいいのですが、神道の神様は主に「社会を作る存在」であるために、私達の「社会への影響」と「どのような社会への参加を行なっているのか」を重要視しています。

「そんなはずはない、私は神様に愛されているし見られている」と感じる人も多いかもしれませんが。それは事実かもしれませんが、そうではないかもしれませんが。

従業員1000人や1万人の会社の社長が1社員を個別に気にかけることは、無くはないのです。ですが、基本的にはあまり無い、どちらかと言えばあり得ないに近いことなのかなと思います。

神様の管理能力も無限ではない上、興味関心を個々人に全て持つ力もまた無限ではありません。

## 2. 神様の評価基準

### 志の高さの評価

神道の神様は、高い志（目標、夢、未来への壮大な構想）を持つ人の願いを実際に叶えるルートを考えること、そしてその手助けをすることはパズルを解くようで非常



に楽しい、このように感じられるようです。

例えば「霊能者だけど将来ビルが欲しい」のような偏屈な人間が居たとすれば、「現状の仕事だと無理だから、新しく事業やりなよ。こんな事業が良いぞ」と、ビジネスモデルの発想と人とのご縁を与え、良き銀行やアドバイザーの言葉を導き、ビジネスモデルを現実化させる人間との適切な出会いを提供する、等の働きがあるかもしれません。

「東大卒で官僚になりたい」という願いの子供が居たとすれば、能力的に可能であれば「頭の良い同級生の女性に惚れ込むようにし、その子との手に入るようにで手に入らないもどかしい人間関係を作る」ことで勉強をする姿勢を学ばせ、勉強をする意義を感じさせ、「頭が良く東大生になりたいような人」をライバル視するようになり、塾が最適なところでなければ「塾がやだ！」と主張させ

て最適などところに行くように仕向け、親の仕事をうまく  
いかせ教育費をより出させ、集中して勉強ができる環境  
を親が提供するようにし……などの導き方をするかもし  
れません。

「人の縁・人の発言・人の動き・金の流れ・発想・心の  
状態・思考の状態」あたりを動かすことで願いを叶える・  
最上の道へと導くゲームのようなものを神様は好まれま

す。

ゆえに、難易度が高く、ギリギリ現実化が不可能かもしれない程度の願いを人が持つてくることは、この上なく楽しいことになります。

数千年、数万年、果たして数十億年を生きる霊的超高次存在にとって、それこそが未来への希望を感じさせる極上のエンターテイメントになり、また、高貴なる者の責務として奨励されている行動になるので

す。

そのため、私達は未来を尊ぶ、夢ある志の高い参拝者であることが求められます。

ただし、神様は私達の願いを必ず叶えるとは限りません。

どちらかと言えば「願いを叶える」のではなく「究極へ導く」、といった方が正しいこともあります。

ここで言う究極とは、「可能な範囲のうち最上の道」のことを言います。

いずれにしても、神社参拝を通して神様にお導きを受けられたとき、我々は「究極の流れ」や「最上の活路」が得られるのは間違いありません。

どのような道が示されたとしても、「希望」と「モチベーション（やる気）」は必要不可欠です。

良い道が示していただけるように、ぜひ、どなた様も希望を持って元気に参拝するようにして下さい。

## 「きねん祈念の深さ」の評価

神社では以下の6点の基準により「神を仰ぎ見る角度が高い」と見なされ、参拝者としてより正しく、より好まれやすくなります。

① 祈祷の実施の有無

御祈祷を神社に依頼するかどうか。しなくてもいいが、あつたほうがより正しい。

② 酒の奉納の有無

日本酒の奉納を神社にするかどうか。しなくてもいいが、あつたほうがより正しい。清く美味な酒の方がより



さらに正しい。（「じゅんまいだいぎんじょう純米大吟醸のよんごうびん四合瓶」のあし熨斗付き推奨）

③ 礼節の遵守の程度

作法をきちんとしており、心から深々と礼をする参拝者のほうが正しい。己を小さく、安く、謙虚に願う姿勢があればより正しい。

④ 神の尊さの理解度

神の尊さをこれ以上なく巨大に見ること、逆に己の存在をそこに対比して小さく小さく見ることが重要。

本書では似たような内容を何度も繰り返し申し訳ないのですが、重要なことなので再度書かせていただきます。そもそも人類最高の権威ある（エリザベス女王やローマ法王が上座を譲る）人物が天皇陛下ですが、その天皇陛下は神道の祭司（儀式をつかさどる人）の総代表です。

つまり、「天皇陛下よりも遥かに偉い存在に対してどう接するのか」「皇居よりも尊い場所に来てどう立ち振る舞うのか」が参拝者には問われるのです。

そこを知らずに観光なのか参拝なのかあやふやな参拝者はよろしくなく、また、神の尊さを理解していない参拝者もよろしくないので。もしもあなたが、その部分が足りないのであれば、今から直せば問題ありません。

また世が世なら、天皇陛下に「おっす」という気持ち

で接する人は不敬罪で3ヶ月以上5年以下の懲役です。

神社の神様に「おつす」と参拝する人はそれに比べて死刑でも構わんだろうぐらいで私は考えています。

しっかりと敬意をもつて参拝すべきですし、そうしないなら参拝しないほうがマシです。

「人類最高の尊い人が全身全霊で尊いと祈る先の存在」が神道の神様です。その尊さを理解しましょう。

⑤ 金や恨みなど不快な願いからの距離

前述の通りお金に関してや、あるいは恨みなどの願いを無意識的にでも持つべきではありません。そのような願いはしてはいけない！と意識していれば、ふと間違えて願ってしまったても問題はありません。とにかく、それらは願って良いものと認識してはいけないのです。

⑥ 日本への帰属意識の程度

多くの人には関係のない話ですが、「日本国に帰属する日本人であること」を参拝者はある程度意識すべきです。

将来的に海外に移り住むかも、という場合は、日本の社会を作る存在である神様からすると、導いただけ無駄になってしまいます。それゆえ、海外居住の可能性がある人でも「私は日本に住む日本人で一生居るだろう」という気持ちで参拝するようにして下さい。

願いごと（願意）を叶えることによる社会的な好影響を  
考えること

「自分の願いが叶う事により、社会に好影響が起こる」  
ということを、拡大解釈や誇大妄想こだいもうそうも込みで、現実的に  
「言われてみればそうだな」というぐらいのレベルで考  
えて意識するようになして下さい。

神様には願いを叶えてあげる義務はありません。

なんなら「人個人の欲望なんぞ叶えてやりたくない」

ぐらいの考えを持たれています。

しかし、「社会に良い影響がある個人の望みなら考えてやる」とも同時にお考えです。

そのため、以下のような「自分」「願い」「社会」を結び付けた祈念きねんが最適です。

・「うちの息子が頭が良くなつて社会で活躍して人様の



役に立つように」

・「家族が健康であることで、社会に安定して貢献し続けられるように」

・「私の自営の建設業が世の中のお役に立ち、見ず知らずの多くの人の仕事や生活に役立てていただけますように」

・「私の車の買い取り営業の仕事が上手くいくことにより、多くのお客様の未来を（大きな買取金額をお客さ

んが大きく活用することです）良くしていきたい」

・「私の窯元の陶器がたくさん世の中に出て、色鮮やかな食器で人の心が豊かになり、社会を明るくし、多くの人の一家団欒を大いに作っていきますように」

・「私が工場で働く中でミス無く問題無く仕事が回転し、不都合なく社会のお役に立てますように」

・「Aさんと結婚できた時は、Aさんが仕事により注力して社会のお役に立てるように私が支えつつ、私もしつ

かり共働きで社会に貢献すべく働いていきたいと思ひますので、ご縁を結んで下さい」

・「結婚相手を今探しているところですが、私がその人に良い影響を与えることが出来、相手が私に良い影響を与えることで、夫婦で社会や人のために貢献して頂けるよう務めます。どうか良いご縁を下さい」

など、これらは一例ですが、「自分」の「願ひ」が叶う

と「社会」に好影響がある、という主張を交えて願いごととはすべきです。

神様から「超分かつてる人間じゃん」という扱いを100%間違ひなく受けますので、願いを叶えたい欲や、その責務を神様が圧倒的に感じやすくなります。

### 3. 神様の高貴なたしなみ

神様という存在は、多忙な上に一切の無駄を嫌う存在になります。また、繰り返しますがそもそも人の願いを叶えることは義務ではなく、生花や書道と近いような、「高貴なたしなみ」「やった方が良いこと」と考えているところが大きいです。

先に書きましたが西洋的にはノブレス・オブリージュ  
Ⅱ「高貴たる者の責務」、日本的には「位高ければ徳高き  
を要す」という概念がありますが、そのような感じで人  
を「まあまあに興味」「どっちかと言うとライフワーク的  
なノリでやること」として導いている節があります。

そういった中で、「たしなみ」に沿う「面白い人」の願  
いは「叶えてやる」というのが、おおまかな「神様」と

「人」と「願い」における真実になります。つまりは、我々が思うほど願いというのは叶えてくださらないのです。

しかしその「たしなみ」において、「ついうっかり叶えてあげなくなる人」というのもまた同時に存在しているわけです。

「社会や全体への影響を考える個人」がその「叶えてあげなくなる人」にあたります。

その人が神様の尊さを知り、礼儀作法もきちんとしていた場合、それはもう「叶える以外に選択肢が見当たらない」くらいに叶えなくなるものです。

通常の神社参拝では、「面白い人」もしくは「定期的に何度も来る人」が優先され、「叶えてやる」という神様の御働きがあります。

「面白い人」と「神社に40回来る人」は、価値がイコ―



ルだと言えます。本書の参拝手法により皆さんが「面白い人」になることにより、「40倍ご利益がある」参拝が行えます。

また、この参拝の心構えは「神様が何を考えているのか」というのが完全に主軸になっています。

この情報やお話自体は、本来、私のような神道系に極端に偏った霊能者にしか分からない話になりますが、ここではそれを分かりやすくお伝えしてみた次第です。

この章のまとめとなります。

神様の、人がこうあつて欲しいという「求め」とまったく同一の人物のように、神様の考え方に沿うような角度で願う、ということが正しい参拝の気構え・心構えになります。

サラリーマンでも主婦でも文筆家でも副業転売ヤーでも学生でも誰でもなんでもいいので、この解説に沿うよ

うな自分の願い方をきちんと設計した上で神社参拝をして下さい。

ちなみに私は今も昔も願う内容は変わりません。

「いつも多大なる御力おちから添えを頂戴ちやうだい賜り平身低頭感謝致します。私が、私共わたくしどもが、世のため人のためにより強く、より広く、より速やかに尽くせますよう、平身低頭祈念きねん申し奉ります」という一点のみです。（模範的な内容かと

思いますので、皆さんも真似していただいてOKです）

私は神道に身投げしたくらいの霊能者なので神様からすると個人としてはどうも例外的に名が売れているようなのですが、悲しいかな99・98→99・99%ぐらいの参拝者は個人として認識されてはいません。

ですから、心を正しく持ち、認識をあらたにし、「自分の願いを叶えることで社会への好影響に繋がる」という

主張をもつて参拝をして下さい。

これにより必ず、奇跡が起ると断言します。

## ◆第四章

### 正しい神社選び

あなたはなぜ、その神社へ参拝にいくのでしょうか？

- ・ 一番近いから

- ・ 近くて大きいから

- ・ 気になったから

- ・ 調べたら良さそうに思った、ビビツときた

- ・ これからお世話になる土地にあるから

そのような理由でしたら大変良い理由かと思います。

しかし、

- ・ 見かけたから

- ・ テレビで見たから

- ・ なんか流行ってるし

- ・ 御朱印集めたいから

- ・ 意味わからないけどとりあえず

そのような理由であれば、ちよつと、といったところ



です。

私は依頼の有った案件を解決解消するために神社へ代理参拝する際、まず願意がんいに合わせた神社や、願う個人や家の姿に合わせた神社への参拝を必ず行なっています。

中には、一つの案件で「徳島県の山奥の神社↓埼玉県秩父市の神社を2社」という経路を辿った事もあります。

今年間7回はある代理参拝では、飛行機・新幹線・

離島へフェリー・レンタカー・タクシー上等で宮城県より南ならどこにでも参拝しています。（今のところ宮城より北の神社への参拝はご縁がありません）

神社参拝には「なぜそのお社に参拝をし、なぜその願いなのか」という理由が必要です。

この章では、願意に合わせてきちんと神社を選ぶための知識をお伝えしていきます。

# 1. どの神社へ行くのが正解か？

神社には八やお百よろ万ずの神々がある

神社神道には、八やお百よろ万ず（・数え切れないほどの）の神様達が存在するとされています。神社神道の大元になっている、日本における神話が記されている、「古こ事じ記き」

「日本書紀」には、最高神である天照皇大御神を筆頭に、  
全て個性が全く違う神々が記されています。

・闇淤加美神（くらおかみのかみ）…山あいの谷間の暗き  
中で川水の流れる事の神（暗い谷間と暗い谷間の川の  
神様）

・木花咲耶比売神（このはなのさくやびめ）…花が咲く事  
と美の神

・磐長姫命（いわながひめのみこと）…長寿と不変性と永

## 遠性の神

・木花知流比売神（このはなちるひめ）…花が散る事の神

・正勝吾勝勝速日天之忍穗耳命（まさかつあかつかは

やひあめのおしほみみのみこと）…勝利という概念の神

・武御雷神（たけみかづちのかみ）・建御名方神（たけみ

なかたのかみ）…武の神

・金山彦命神（かなやまひこのみことがみ）…鉾山と金属

## 産業の神

このように、その個性が全く違う神々が無数に書き記されています。ですから、願い事によつて、参拝する神社を選ぶべきなのです。

ところが、世間には「お門違い」な参拝が溢れています。

例えば、

・ 武の神の神社へ 「縁結びして下さい」と参拝するケース

・ 勝利という概念の神の神社へ 「優しい人に囲まれ、おだやかに過ごせていきますように」という願いをするケース

・ 食の神のお社へ 「千載一遇のチャンスに恵まれて芸能





どの神社に行くのが正解か？

神社参拝には、「理由」か「縁」というものがあることが推奨されます。

「理由」に相当するものは、

・ 受験の神様に合格祈願を願う

・ 武神に武芸上達を願う

・ 衣食住仕事の神様に仕事がうまくいくことを願う

・ 道開きの神様に物事がうまくいくことを願う

など、実際の由緒やいわれ、あるいは想像力の範囲内で「この神社が良い！」という理由があることを指します。

このケースでは、「勤勉な参拝者が来た」「うちが得意なもの求めてきた参拝者だ」と神様が感じられることが多いはずです。

「縁」に相当するものは、

- ・ 氏神様（狭い地域を管轄する神社）
- ・ 生まれた土地の氏神様だから

・そもそも近い

・住んでいる地域のいちのみや一之宮（※）だから

・地域の大きな神社だから（熱田神宮など）

・人に言われて、テレビで見ても等で情報を得て以来、どうしても気になっている

こういったものが縁です。

※「一之宮」とは、旧国名の地域で選出された格が高い

神社のこと。参考…『日本秘境探訪』

要するに、地域のでっかい神社か、近くの神社は大体縁があるみたいだから参拝すべき、あるいはしてもいい、という事になります。

日本神社神道の考え方では、土地は神様の持ち物です。当然日本列島も神様の持ち物です。人は、そこで生活をさせていただいているという「御利益<sup>ごりやく</sup>」を頂戴し続けて

いるのは間違いありません。

それゆえ、その住まわせて下さっている「御利益<sup>ごりやく</sup>」を  
辿<sup>たど</sup>れるというのは、一つのご縁だと言えます。

また、「ささやかな願いは」地元の神社へ、「重い願い」  
はスペシャリストの神社へいくのが霊能者としては推奨  
です。なお「神様全体へのご恩への感謝」でしたら、ど  
の地域のどこの神社で縁もゆかりも無かろうと、お受付

して頂けるはずです。

## 2. 神様へのお願い事は2種類に分けられる

願い事は大きく分けて2つに分類されます。「生きていく中でなさやかな願い」と「重い願い」です。

前者は、



- ・ 人にいじめられている
- ・ 最近物事がうまく行きづらい
- ・ 若干うつっぽい
- ・ 楽に物事が捉えられない
- ・ 少々物事がうまい方向に行くようになりたい
- ・ 家族と仲良くなりたい
- ・ 営業成績が上がるように
- ・ お客さんが増えて欲しい

など、暮らしの中での様々な「それほど重くはない」願いがこれに該当します。

反対に「重い願い」とは、土壇場・大一番、叶うかどうか、ここからうまく行くかどうかで大きく人生が変わりうるような願いです。

具体的には、

- ・ 受験
- ・ 就職
- ・ 起業
- ・ 引っ越し
- ・ 試合や大会
- ・ 結婚
- ・ 縁結び

・ 病氣

・ 訴訟

・ 人生最悪真つ逆さま中、死を覚悟するような中に居る

などです。

こういった事を急転直下、速やかなる完全解決と理想のルートへの路線変更を行ない、結果を最善に至らしめる事は、神社神道の神様にとっても醍醐味のある働きに

なります。

それらのスペシャリスト的な神様に願えば、このような願いを凄まじい力で強制的に、完全な理想の状態に持つていってくださるに違いありません。

絶対に叶えたい！という場合は、その願いのスペシャリスト的な神様にご祈念きねんされるのがよろしいかと思いません。

### 3. 「重い願い」を祈るべき神社はどこか？

世の中には八万社以上の神社がございますので、とりあえず私が把握している限りの神社を書き記します。

東海三県を中心として記載しますのと、御祭神（神名）だけを書き記したものもあります。その場合、近場の該

当の御祭神の神社か、遠くの大きなその神様の神社の代表的な神社を参拝して下さい。

「社会のために私を使つて下さい」という願意と、「感謝」だけは全神社共通で通用する「重い願い」になります。

なぜこの神社がこの願い事に対応しているのか？という疑問に関しては、ここでは触れません。もしも、私の

「霊能者占い鑑定所 神しん気き界かい」での鑑定をお受けいただいた際にご質問いただければ、正確にお答えさせていただきます。

神恩感謝しんおんかんしゃ（神様のご恩全てに感謝します）

・伊勢神宮（三重）

・その他全ての神社



社会のために私をお使い下さい

・伊勢神宮（三重）

・その他、北海道神宮、伊勢山皇大神宮、東京大神宮などの伊勢神宮系神社

・他、全ての神社

災難除け

・素盞鳴命、または、建速須佐之男命等の神名の神様の

神社（熊野本宮大社（和歌山）・熊野速玉大社（和歌山）・熊野那智大社（和歌山）・津島神社（愛知）・八坂神社（京都）など）

・熱田神宮（名古屋）

・香取神宮（千葉）

## 家移り

・伏見稻荷大社（京都）

・ 椿大神社（三重）

## 仕事全般

・ 伏見稲荷大社（京都）

・ 稲荷大神、宇迦之御魂命が御祭神の神社

・ その他、職場付近の大きい神社へ

良い方向に行きたい

・ 椿大神社（三重）

・ 伏見稻荷大社（京都）

自らは傷付かず、物事が自然に流れていって欲しい

・ 貴船神社（京都）

・ 丹生川上神社下社・上社（奈良）

・ 鹽竈神社（宮城県）

・ 住吉大社（大阪）

- ・その他、水神高竈神・罔象女神などが御祭神の神社
- ・その他塩土老翁神が御祭神の神社

## 縁結び

- ・出雲大社（他の出雲分社は非推奨）
- ・白山比咩神社（石川県）
- ・縁結びをうたっている神社の8割程度（諸事情あり、貴船神社は入りません）

出世したい、向上をしていきたい

・ 伏見稲荷大社（京都）

・ 宇迦之御魂命、稲荷大神が御祭神の神社

・ 大己貴命、大穴牟遲命、大己貴命が御祭神の神社

勝利したい。武道などでの向上

・ 正勝吾勝勝速日天之忍穗耳命（もしくは天之忍穗耳命）

が御祭神の神社

・武御雷神たけみかづちのかみが御祭神の神社

・建御名方神たけみなかたのかみが御祭神の神社（諏訪大社上社本宮など）

・熱田神宮（名古屋）

・建速須佐之男命たけはやすさのおのみことが御祭神の神社（前述の熊野の三神社・

津島神社・八坂神社など）

衣食住に恵まれたい

・ 伏見稻荷大社（京都）

・ 宇迦之御魂命、稻荷大神が御祭神の神社

夫婦円満、夫婦不仲解消

・ 多賀大社（滋賀）

・ その他、熊野の三神社以外の、伊耶那岐命神・伊邪那美命神が御祭神の神社



嫌がらせを避けたい

・建速須佐之男命たけはやすさのおのみことが御祭神の神社（前述の熊野の三神社・

津島神社・八坂神社など）

・熱田神宮（名古屋）

・香取神宮（千葉）

・住吉大社（大阪）

人生一発逆転ホームランで成り上がりたい

- ・武御雷神たけみかづちのかみが御祭神の神社

## 学校への合格祈願

- ・太宰府天満宮だざいふてんまんぐう（福岡）

- ・北野天満宮きたのてんまんぐう（京都）

- ・その他、伊勢神宮以外の合格祈願を行うのが習わしになっ  
ているありとあらゆる神社（合格祈願に有名な神社）

・ 地域の一番大きな神社（愛知なら熱田神宮、真清田神社）

・ 「社会の役に立つ人物になれますように、良い学校に合格をさせて頂きたくご祈念致します」との願意で、全ての神社

## 就職祈願

・ 伏見稻荷大社（京都）

・「社会の役に立つ人物になれますように、良い会社に就職をさせて頂きたくご祈念<sup>きねん</sup>致します」との願意で、全ての神社

## 健康

・大体の神社で叶います。近場の大きい神社か、氏神様へ、気になった時に毎度お参りする形式で良いかと思えます。

## 延命長寿

・ 大体の神社

・ 磐長姫命いわながひめのみことが御祭神の神社（例えば貴船神社の境内社にあります）

美しくなりたい、女性的になりたい

・ 富士山本宮浅間大社せーじんげんたいしや

・ 一応、椿大神社つばきおおのかみやしるもしくは猿田彦神社さるたひこの天宇受売命あめのうずめのみことが御祭神のお社へ

## 芸事に関して

・ 椿大神社つばきおおのかみやしるもしくは猿田彦神社さるたひこの天宇受売命あめのうずめのみことが御祭神のお社へ

悪に（本当に）該当する人間が苦しみ、己に活路がもた

らされるように（裁判など）

・ 吉備津彦神社（岡山県）※吉備津神社ではない。間違えやすいので注意

怖がらせてくるような人間が、怖い思いをするように

・ 諏訪大社下社秋宮（長野県）

縁切り（理にかなっている場合のみ。他者に害あること

は願うべきではない)

・安井金比羅宮 (京都)

いわゆる全部うまく行きますように、という贅沢でざ

っくりとした願い

・伏見稻荷大社 (京都) のみ

木・火・土・金・水に関わりのある産業に従事している、



## 就職したい

・木…伊太祁曾神社（和歌山県）（訳あつて久久能智神の神社ではない）

・火…秋葉山本宮秋葉神社（静岡）（火之迦具土神・ひのかぐづちのかみ）

・土…土木や建築なら伏見稻荷大社でも良い。他、土に関わるとは言え建築とは言い難いものであれば、・埴山彦神・埴安彦神・波邇夜須毘古神が御祭神の神社へ。

大きな社は確かあまり無かったが、御祭神が上記であればどこの神社でも問題ない。

・金<sup>かな</sup>山<sup>やま</sup>毘<sup>ひ</sup>古<sup>この</sup>神<sup>かみ</sup>（金<sup>かな</sup>山<sup>やま</sup>彦<sup>ひこ</sup>命<sup>のみこと</sup>）が御祭神の神社。  
南宮大<sup>なんぐうだい</sup>社（岐阜県）

・水<sup>みづ</sup>丹<sup>に</sup>生<sup>う</sup>川<sup>かわ</sup>上<sup>かみ</sup>神社下社↓上社で参拝が推奨。

彌<sup>み</sup>都<sup>ず</sup>波<sup>は</sup>能<sup>の</sup>売<sup>め</sup>神<sup>のかみ</sup>・罔<sup>お</sup>象<sup>か</sup>女<sup>の</sup>神<sup>かみ</sup>が御祭神の神社

他、きちんと調べていた上、想像力の中で結構

ですので、お願いごとと関連性のある神社への参拝をお勧めします。

## 4. 最強のパワースポットである開運神社はどこか？

以前、個人的にも良くしていただいているとても仲の良いご相談者様と雑談をしていた際、このような話題になりました。

「先生、最強のパワースポットにあたる神社はどこですか？ 開運神社というか。なんでしたっけ、江原啓之さんが大神神社おほみわじんじやが良いと言い出してから参拝者が増えたみたいなの話がありますけど」

質問を受けて、私は天を仰いで2分ぐらい固まりました。

基本的に、「神社は相性により、応えてくださる場合と

下さらない場合が分かれる」というのが私の中では大原則です。

そのため、Aさんにとっての一番良い、開運する神社が伏見<sup>ふし</sup>稲荷<sup>いな</sup>大社<sup>りた</sup>だったとしても、Bさんにとって一番良い神社は熱田神宮<sup>あつた</sup>だったりする、みたいな現象があるため、一概に「ここが一番良い開運神社であり誰にでもおすすめができる！」のような話は無いなあ、と思いました。て、ウーンウーンと唸っていた次第です。

ここでは、おなじような疑問を感じているあなたのために、あえて3つの神社を紹介します。ただし、これらの開運神社は、あくまで「条件付き」であることを強調しておきます。

## 出雲大社（島根県出雲市）

出雲大社は、私が主張する「撮影をしてはならない危

険な3つの神社」の第一位として、作法に神様一うるさい神社だと言えます。縁結びの神社として名高い傍ら、なんなら、ペナルティに縁を破壊することもあるのです。私が参拝時に日本で2番目に恐怖心（畏怖でも良いですが……）を持つ神社です。

そもそも、出雲大社の「いづものおおやしろ大国主大神」という神名の神様は、日本の神社神道の神話（古事記・日本書紀）の中



で、「日本を所有していたが、これを天の神様に返した  
(国譲り神話)」とされる大いなる神様です。

神道系の霊能者ゆえにできる話ですが、

「日本国民の所有権は国津神(日本列島の神様)の代表  
の大神主大神様に」

「日本国民の支配権と国土の所有権は天津神(天の世界  
の神様)全体で所有している」

というのが私という霊能者からするとところの正しい話です。

要するに、「日本人の参拝者は全部俺のモン」とおっしゃられる権利がある神様だという話です。

この神様がどうも、穏やかではない。その昔ご相談者様から聞いた話です。

「出雲大社いづもおおやしろに Facebook で繋がっている不良っぽい男女

7人の友人知人が静岡あたりからキヤアキヤア騒いで参拝しに行つて、写真バツシヤバツシヤ撮つてテンション高く参拝して帰つてきた。そしたらなんと、その2週間後に7人中6人が職を失つていた」と。

霊能者として言う話ですが、根拠は秘密ですが「これを全然やられるであろう神様」が<sup>おおくにぬし</sup>大国主大神様です。

つまり、「失礼があれば取り返しの付かない出来事を起こすことがある神様」と言えます。

開運神社の話だったのに仰々しい内容ですが、ここからが本題です。

「その逆があつたらどうなのか」という話です。

服装は正装、きちんとした作法、神様も美味しいと喜んでくださるであろう熨斗のし付きの純米大吟醸じゅんまいだいぎんじょうの上等な日本酒、ご祈祷。

そして心の底から神様への畏敬いけいの念を持ち、「巨大であ

まりにも尊い大いなる神様に、畏れ多くも願いをお捧げ  
させていただく」という気持ちで、自分の利益ではなく、  
社会や他人様の利益にもなるような願いを捧げる……と  
いうのが、

「写真バツシヤバツシヤ、ギヤハギヤハ大爆笑で出雲？  
なんとか神社？ とかいうところで観光してきた！（笑）」  
の真逆かと思えます。

このような礼儀作法を細部まで重んじて、心まで出来上がった参拝者は（出雲教とか大社教の人なら別ですが）1日に3人4人も一般人では居ないはずです。

相当に「良い意味で」目立ちます。

出雲大社では、この礼儀作法と心の状態を絶対条件として、「絶大な縁」というものがほぼ間違いなく授けられます。

人は縁により開運することも、不運になることもあり

ます。職業選択や人物像、人格も、なんなら収入も伴侶も未来も寿命さえも全て「誰との縁があるか」によつて決まります。

成功者になるのか失敗者になるのか、失墜して底辺をさまようのか成り上がって究極の可能性のそのまた向こう側に行くのか、これもまた全て「縁」だけがなせる技です。

天津神あまつかみの神様は「人の意志や心や判断によつて人を導く」ということが比較的多く、国津神くにつかみの神様は「人を誰と会わせるかによつて人を導く」ということのみで人を支配している傾向があります。

私は天津神系あまつかみの神様にお力添えを100%頂戴いづもおおやしるしている霊能者なので、その出雲大社いづもおおやしるで頂戴できるかもしれない「ご縁」というご利益にあずかるのがどうも難しいよ  
うなのですが、本気で服装や作法を整え、究極の参拝を



寸分違わず行なってくる覚悟のある方は、ぜひそのように参拝をしてきて下さい。

「絶大な開運」が約束されるはずです。

ご祈祷時にはきちんと姿勢を正し、頭を下げるときは苦しいほどに下げ、STARBUCKSス前ダの大鳥居より精密な動作を心がけて参拝してきて下さい。

## 伏見<sup>ふし</sup>稻荷<sup>いな</sup>大社<sup>だいしや</sup>（京都市伏見区）

伏見<sup>ふし</sup>稻荷<sup>いな</sup>大社<sup>だいしや</sup>の稻荷<sup>いな</sup>大神様<sup>おおかみさま</sup>（「女神様」でありそのお使いが白狐<sup>びやくこ</sup>なので、狐の神様だとか勘違いしないように）は、衣食住・仕事を司る大神様<sup>おおかみさま</sup>です。

稻荷神社は「日本一多い神社」であり、そのことから日本の豊かな発展をもたらしてくださった神様であるのと言うまでもありません。

この伏見<sup>ふし</sup>稲荷<sup>いなり</sup>大社<sup>たいしゃ</sup>ですが、参拝者によつて恩恵が違います。最も恩恵を受けやすいのは次のような人物です。

①半私的に使用できる経費や収入や立場が上がる余地があること（自営業・一部の外資系コンサルなど）

②目立った金額の高い身に着けるものを欲するぐらいの欲はあること（高額な衣服・装飾品・車・ブランド品などを嫌悪していないこと）

③加熱しても金が減らないギャンブルだと仕事を捉えていること

⑤人から人気になっても耐えうる精神をもっていること。  
また、人気になっても愛想を振りまけること

⑥態度が横柄で人を苦しめるようなタイプではないこと  
⑦守り・安定・維持という言葉が嫌悪の対象であること  
⑧人を直接言葉などで操作するより、人が動く出来事や物事や物を作ったほうが良いと考えていること

⑨究極を目指して進んでいるという人間性があること、  
または、それを理想としていること

これらのうち最低でも6個当てはまる場合、もれなく  
「伏見稲荷大社ふしみいなりたいしやに参拝したら即開運」という性質の人に  
違いありません。

ちなみに私は9個全て当てはまっていますが、恐ろしい  
ぐらいの絶大な開運を受けています。

今のところ足繁く参拝しだした9年前から数えて、嫌なこと、トラブルと言えるものは何も一切起こっていません。厳密に言えばその火種ぐらいの出来事はたった数個ほどありましたが、火種のまま即座に全て鎮火しています。

この9条件は「君面白いね」と伏見稲荷大社の稲荷大神様おおかみさまがなる条件だと言えます。このような人物を友人知人や同僚に見付けましたら、ぜひ伏見稲荷大社ふしみいなりだいしゃへの参

拝をお勧めしましょう。

また、逆に様々な経験に飛び込むことで、このような人物像に己を整えてから参拝を試してみましょう。

### 伊勢神宮（三重県伊勢市）

伊勢神宮は神社神道における最高にして最も特別な神社です。伊勢神宮の天照大御神という神様は基本的には

「神様のための神様」であり、「日本列島全体のための神様」であると言えます。

そのため、「伊勢神宮は特別すぎる神社だから、そこでは感謝しか願ってはならない」などと言われており、（実際には社会や広く他人の役に立つ拡大解釈がある願いや、結婚相手がほしいとか、そういう願いは聞き届けてくださるのですが）なんなら「天皇陛下のための神社なんだから参拝することだけでもありがたいんだから願いご



となんかするんじゃない」というぐらいの言われ方をしている特別な神社です。

霊能者としての話、この神社が人の願いを本気で叶えることというのは基本的にはありませんが、一点だけ本気で働いてくださる条件があります。

それが「奉納金の大きさ」です。

具体的な実情は私も詳しくはないのですが、伊勢神宮

に奉納されたお金の流れが「神社神道という文化の永続のために使用される」ということがあり、「奉納の金額が巨大だとその分のご利益が明確で巨大になる」というのが伊勢神宮のご祈祷やご奉仕（お金）での明確な特徴になっています。

（あくまで予想ですが、伊勢神宮から神社庁へ「本宗交付金」という名目でお金の流れ、神社庁から日本全国の神

社や小さな社やお金がない神社へお金が流れているなどではないでしょうか？詳しくは「本宗交付金」で検索下さい）

逆に他の神社での奉納金というものは「その神社の永続性への寄与」や「その神社の衛生面への寄与（人を雇って清潔に綺麗にすることの寄与）」としか神様としては換算をされないようです。ゆえに、他の神社では奉納の金額が最重要というわけではありません。

では具体的にいくらから「神社神道という文化の永続のために寄与きよした」と見なされるかですが、本書では「これなら絶対に開運する」という条件設定で書いていますので、リアルすぎて引かれるかもしれませんが……

「内宮のご祈祷に最低20万円」です。

最低と書いたからには標準についても書きますが、標準は「50万円」です。

私は2021年、2022年の正月に二度、50万円のご祈祷の奉納を神氣界しんきかいの経費で行なっており、2023年は20万円のご祈祷の奉納を、そして2024年の年明けには再度また50万円のご祈祷の奉納を行ないました。

実際にこれで何が変わったのかという話ですが、日本語にするのが難しいほどにご恩をいただけています。

ちなみにこれは俗っぽい話ですが、2021年の正月

のご祈祷の2日後に、2018年頃に人に貸した40万円が返ってきました。その後、売上が前年度比1・5倍になっています。

2022年にはさらに1・5倍になりましたが、奉納金が20万円になってしまった（本当は50万円にしたかったのですが）2023年は売上が前年度比85%に下がっています。

そしてその2021年、伊勢神宮帰りに構想をビビッ

と得て、世界に類似のものが無いITサービス事業に私  
が着手し始め、従業員をそれ用に2名雇用し、大きな補  
助金がありつつ銀行さんにも良くしていただきつつ20  
24年2～3月頃よりサービス開始予定になります。

また今年1月15日頃（50万円のお神楽の奉納から2  
週間後）に母方の実家の土地が売却され、そのお金の分  
で私に50万円ぐらい贈与があるよという話が母からあ  
りました。

……というのが現在までの流れです。

ただの霊能者がIT企業の社長にもなっちゃうぐらいにはとてつもないことが起きます。しかもたまにキャッシュバックがあり得ない方向から来ます。

ヤバイ。伊勢神宮への50万円の奉納はとにかくヤバイ。なにかが起こる。20万円でもヤバイ。そういったお話です。



圧倒的、革命的に、もう意味が分からないぐらいに開運したい方はぜひノリと勢いで20万円奉納しましょう。外宮はご祈祷なしの参拝か5000円のご祈祷か1万5000円のご祈祷で良いかと思えますので、内宮へはドカン、といきましょう。ぜひ。

一応ですが、自営業でも自営業じゃなくてもその奉納金は「社会から返ってくるもの」というのは間違いない

ように思えます。

伊勢には「毎年一億円奉納しにくる大社長の話」などがタクシー運転手の間で実際のものとして流れているそうですが、手元に返ってくるということは、もう一回奉納するということになります。

その繰り返しは日本の神社神道の永遠性を保つ一助になる、ということかと思えます。

ただし、ハードルが高い……。50万円、50万円ですからね。20万円でもちよつと無理があると思いますが。しかしここは信心が試されるところです。本当に死んじやう方以外は、ぜひと死ぬ気で奉納しましょう。革命が起きます。多分ですが。

29年間、二代に渡って続く霊能者占い鑑定所 神しん気き界かい  
泉皇導が責任をもつて皆様にお伝えを致します。

日本最強の。パワースポットにして最高の開運神社は、

出雲大社いずもおおやしろ（条件付き）か伏見稻荷大社ふしみいなりたいにしや（条件付き）か伊勢神宮（条件付き）かです。

条件に合うところへいざ、平身低頭ご参拝下さいませ！

## ◆第五章

「神様に好かれるために」理解すべきこと

この最終章は、すこし重い話となります。しかし、あなたにぜひ知ってほしいことでもあります。

基本的に、人間というのはその全てが「善」つまり、良い存在として生まれてくるのだと言えます。ただ、その全てが「良い存在」として生きるということは有りません。

「善」とは何か、みたいなものはとても難しい話になり

ます。

ボランティアをしていれば善なのか？

無償で人に尽くしていれば善なのか？

真面目に仕事を黙ってしていれば善なのか？

ただ家族を支えていれば善なのか？

「どこの誰から見たどのような定義・感性・ルールでの

善なのか」といった観点が必要です。どこから見るか（視点）が決まっていれば、初めて「善」を語れるようになるのだと思います。

ですからここでは、神道系の霊能者として、「神道の神」の視点からするところの「善人・悪人」について述べたいと思います。（仏教の仏様視点についても補足します）



## 1. 神道の神様の判断基準とは

基本的な神道の思考というのは、神道自体が、

「教義無し」

「シャキつとせえ」

「祝詞を捧げよ」

「神は神、途方もない存在だから極大の敬意を払え」

くらいしか有りません。

しかし、実はもつと根本的な思考が存在します。それを理解してもらうために、まずは「エフェクト」と「六次の隔たり」という言葉について説明をします。

## エフェクト

「○○エフェクト」という英語表現を聞いたことがありますでしょうか？

海外では「Amazon Effect」と言えばネットショップのAmazonの急成長がもたらした波及効果を言います。

「Butterfly Effect（バタフライ・エフェクト）」という言葉では「ブラジルでの蝶の羽ばたきはテキサスでトルネードを引き起こすか」という、極小の影響が巨大な影響を生む可能性を表現しています。

上記を一例として、その他さまざまな場面でも、1つの会社対経済、あるいは人1対1だとしても、1対多だとしても、その波及的な影響（エフェクト）というのは必ずあるものです。

## 六次の隔たり

また、「六次の隔たり」という仮説があります。

これは「あなたの知人の知人の知人の知人の知人」で、全世界中の誰かを網羅できる、という仮説です。

人は平均44人の家族友人知人がおり、その知人はすなわち44の44乗で1936人、そのまた知人は8万5184人、そのまた知人は374万8096人、そのまた知人は1億6491万6224人で日本人口を超え、更にそのまた知人は72億5631万3856人で世界人口（80億1987万6189人）になります。

6次で全世界中、ということ、日本国内であれば4次、つまり、「あなたの知人の知人の知人の知人」と辿っていけば、日本国内の全ての人につながるだろう、という話になります。

この理論にもとづけば、あなたの知人の知人の知人の知人は（仮に会ったことがないとして）私であり、私の妻であると言えます。

また、あなたの知人の知人の知人の知人の知人の知人

を辿ればトム・クルーズやジョニー・デップ、ウィル・スミスやディカプリオにつながる、という話です。

要するに、これらの2つの話を合わせて考えると、「人間は1人ながら日本中の全ての人に影響しうる影響力を持っている」と言えます。

“神道の神様に対しての人間の圧倒的な勘違いは、「私は”神様にどう思われているのか」という考え方です。

あなた個人（著者の私も）なんてはつきり言つて、砂浜の砂粒1つでしか無く、それを注視してどう思うかというのはおこがましい話です。横柄とすら言えます。

では、どのように考えたらよいのでしょうか？

正解は、「私“が皆に何を出来るのか”、神様にどう思われているのか」です。

田中さんがいるなら「田中エフェクト」がいかなるも



のか、吉岡さんがいるなら「吉岡エフエクト」がどうだ、泉さんがいるなら「泉エフエクト」がどうだ、と、そこへの興味しかほぼほぼ神様は持っていません。

想像して下さい。事務机にうず高く積まれた一億二千万ページのプロフィール名簿を。あなたは、そこに書いてある一億二千万人の詳細なプロフィールを見て、その全員に関心を持てるでしょうか？

神様が一個人に興味関心を持つというのは、「こいつ超面白い！」と“プロフィールのA4用紙を机の右端に仕分けておく”作業がある、ということになります。

残念なことに、1000人に1人もその机の右端には行けません。なので、そこに入っているかどうかはあまり考えるべきことではありません。

重要なのは「●●▲▲（あなたの名字と名前）エフェクトがいかなるものか」という一点だと考えて下さい。

## 2. 神道の神からするところの「善人」とは

「●●▲▲（あなたの名字と名前）エフエクトがいかなるものか」の視点に立ちますと、神道の神様からするところの「善人」とは、「他人への影響が良く、その影響範囲が広い人」となります。

ここには当然、子育てをする母親も入ります。（専業主

婦だとしても）「他人への影響が良い子供を育てる母親」という考え方です。子供がいないとしても、「他人への影響が良い夫を活かす良い妻」という考え方になります。

善人たるエフェクトを発揮する場面は、主なところでは「仕事での影響」と「私的なところでの影響」に分類されます。

## ◇仕事での影響

- ・ 仕事を通じて経済活動を行なう
- ・ 教育を受けて自らが成長して良い働きをする
- ・ 教育を与えて人を成長させて良い働きをする
- ・ 仕事を通じた社会活動により、そこに関わる全ての人に好影響を与える

- ・ 周囲を精神的・モチベーション的に支える人間として  
良い機能をする
- ・ 周囲をより高い経済活動・社会活動が行えるように良  
い機能をする

### ◇私的なところでの影響

- ・ 消費を通じて経済活動を行なう

・私的なところでの教育や指導、教えを通して人に良い影響を与える

・人に良い影響を与える子供を作り、人に良い影響を与える教育をする

・友人知人や仲間と支え合い、助け合い、相互に好影響を与え合う

## ◇共通

- ・ 他人に自分の好影響を学ばせること
- ・ 他人から学んだ好影響の出し方を、自分も行なうこと
- ・ 悪影響を人に与える人を断罪する

上記で行なっている項目が多い人や、その度合いが強い人はより神道の神様から「善人」として見られます。



## ◇特例として

### ・特例1・発達障害の場合

「発達障害」や「極端に重度な難治性の病気」のボーダーラインに完全に入る場合には、その傾向の子供を専門に「守る」神様が、その子たち個人をしつかりと注視して見て守り、幸福度の高い人生で有り続けられるように、

「心の感じ方」を変えて下さいます。

その上、「家族に喜びを与えるような喜びを持つ子供」にして下さいます。これが特例としてあります。この場合は、エフエクトというものは求められることなく手厚く保護・守護されます。（よく言われることですが、家が栄えたり親の事業がうまくいったり等も少なからず起ります）

## ・特例2. 芸能活動をする人のエフエクト

芸能活動を主にする人は、人に顔を見せて生きる活力を与える、みたいなエフエクトがあります。かつ、これを磨き、不用意なことを口にしないこと（影響が大きいだけあって、悪影響も大きい）を多くの場合で強要され、マイナスのエフエクトを制限されます。これは少し特殊だと言えます。

ただし、神様にあまりに呆れられている場合はマイナ

スのエフェクトを制限されず、身から出た錆を経験すべしといった場合もあります。

・特例3・ 仏教でもない他宗教の人間は知らん

主にキリスト教圏に行き、洗礼を受けた人（国内カトリックなら大丈夫）は、キリスト教の管轄になります。

英語がよく分からんままキリスト教の教会に行つて、なんか水をちゅちゅつと掛けられた（洗礼を受けた）人

はその半分以上が「あっちの人」になりますので、神社の神様から「知らんやつ認定」されます。

### 3. 仏教的な善人との違いは

仏教で言うところの「善」<sup>ぜん</sup>はざっくり言えば（諸説あります）身口意<sup>しんくうい</sup>と言つて、「行動・言動・心が善かどうか」が基準になってきます。あとは「行」<sup>ぎょう</sup>といつて、仏教的な方法論での修行や、お経を詠<sup>よ</sup>むこと、手を合わせることをどれだけ一通り行なってきたのか、というのも

判断基準です。

人個人やその中身によりフォーカスを当てて「正しく生きていこうね」というのが仏教なのだと言えますが、神道の場合は「他者への影響一点のみ」が善人の基準になるのだと言えます。

そのため、「仏教的には罪業ざいごうと罰ばつのるつぼな人で大罪たいざいを犯してきた大悪人だあくにん」にあるにもかかわらず、「神道的には

超善人で完璧超人で神様みんなが大好きで大人気で常にエンタメ的に監視されまくっている個人」みたいな謎の人間さえ生まれてしまいます。

とにかく、仏教上の善人⇨神道上の善人では全くない、というのが正しい話です。仏教的な善人は4人中3人、神道的には5人に1人ぐらいです。

両方に入る人は要するに、



・ 仏..悪い口をきかない、言わない（ほぼほぼ）

・ 仏..悪い行動をしない、してこなかった（ほぼ）

・ 仏..悪い心で考えない、考えてこなかった（そこそこは）

・ 仏..信心深く仏教に帰依<sup>きえ</sup>（頼りにし、すぐること）してきた（他の項目がかすむほどの激しいプラス加点）

・ 神..良い影響を人に与えてきた

- ・ 神…良い影響を人に与える人を作ってきた
- ・ 神…悪い影響を人に与えていない
- ・ 神…悪い影響を人に与える人を断罪してきた（やらなくても良いが、上手にやっているなら加点）

上記を全部おおまかに行なっている人、となります。

世の中の約10%～14%の人がそこに入るかと思っています。

仏教的なハードルは、4つ目の「おが拝め」というものの以

外はストレス社会&競争社会&格差社会&他……な現代人には少し守りにくいところもありますが、守れると本当は良いかなと思います。

#### 4. 神道の神からすると「善人」とは2

良くある勘違いですが、神社の神様が「祈る人が好きか」と言われれば、そんなことはまっつまつつたつたつたありません。人が生きる上で祈ること自体は「当たり前」なので、どうだつて良いことなのです。（祈らない人が多いのが現代ですが、そうだとっても、大前提のよう

です)

そこは評価の対象ではありません。「何をやっている誰なのか」「何の影響をどれだけの人に与えている人なのか」のみが重要だといえます。

祈らない優秀なビジネスマンと、祈る不出来なビジネスマンで言えば、前者のほうが圧倒的に好まれます。なんならこの2人よりも、「他者に良い影響が与えられる、

頭のいい子供になるように一生懸命に子供を育てる母親」のほうが好まれます。

繰り返しますが、祈るのは当たり前です。神様は絶対に一切、祈りを捧げて欲しいわけではありません。

“神社や神棚に祈ること（あなた）エフエクトの最適化」を神様が行なってください”というのが事実になります。

ですから、「生きる上でのインフラ（電気ガス水道レベルの必要不可欠なもの）みたいな、至極当然なものが水道であり、神社や神棚への祈りという話です。水道会社が水道を使ってくれと個別に言うはずありません。ただ蛇口を捻ったらそこに水が出るだけです。

それぐらいに当然のものなので、当然のように祈るべきです。すると、神様の意思で場合によつて「エフェクトの最適化」を恩恵としてくださるかもね、みたいな話

です。

仕事上で大成する・出世する、というのは「社会的な影響が上がる」ことです。子供の頭が良くなるというのも、「社会的な影響を上げる」という行為に繋がります。神様は祈れとは言いませんが、祈ったなら祈ったものの向上がそこにはあります。蛇口があるなら捻っておいただろうが良い、エアコンが有るなら涼しい風が出た方が



いい、というのと同じです。

人生を豊かにしたいなら祈りや良い。けど自由、と、  
そういった話です。

## 5. 神道の神からすると「悪人」とは

これが一番難しい話なのですが、神様のなところでの悪人とはなんぞや、という話です。これが実は真逆ではなく、また違った基準があるそうです。

- ・大衆を馬鹿になるように促す人

- ・ 大衆を経済活動がし辛い状態に持っていく人
- ・ 大衆の精神状態を危うい状態にする人
- ・ 大衆から労働を奪う人
- ・ 大勢の人に自分自身を重んじること無く、他者への無償奉仕を主としろと伝える人
- ・ 良い影響を他者に与えない人・悪い影響を他者に与える人全般
- ・ 他人の感性や、誠実さその他、その人固有の問題のな

い人となりを批判・破壊して回る人

・叱責（失敗などをしかり、とがめること）を通して、人を労働できなくした人

・弱い人を保護して成長を促さない人

・人の否定されるべき部分を肯定し続ける人（体型を除く）

・社会的な悪影響の大小を持つ人全般

他39項目ぐらいあるようですが、とりあえずは以上のようです。

また、以上を総称して、霊的な世界では「死」と呼びます。この「死 (Deadly Effect と言っても良い)」は、人の成長を殺し、また、その周囲の人の成長の機会を殺し……など、とにかく物<sup>もの</sup>凄<sup>すご</sup>い波及効果をもつて悪影響を社会に広めていくことになります。

私はこれが怖くてSNSなんてとてもとても私的にや

つていられません。恐ろしいことです。

また、

- ・ 大衆を馬鹿になるように促す人
- ・ 大衆を経済活動がし辛い状態に持っていく人
- ・ 大衆の精神状態を危うい状態にする人
- ・ 大衆から労働を奪う人

これらを一撃で総ナメにするのは、「X（旧 Twitter）上に、FXで儲かっていると言う人」などがそれに当たります。少なくとも彼等の言動が他者を「死」へ導き、現実には電車を止めています。それによる人間の単純な死とその家族親族への影響、そして人間1名とその家族分の経済活動への影響も最悪です。死人が出ないとしても、生きる屍みたいな人間は出てしまいます。それだけ、酷いものです。

その他、様々な「こういった人が」というのはあります。特定の思想や主義を持った方を攻撃することになりますのであまり言えないところです。

また、学生以外のボランティアなども分かりにくいですがこれも「死」に入ります。世の中に有る6割のボランティアの存在は、世の中から「働き口」を減らします。

（老人ホームに学生が来て歌を歌う活動・保護猫活動な



どであれば問題ないものですが、主に、人の仕事を奪っているといえるもの)

趣味であれ、誰かの仕事を奪っていないかよくよく考えて参加を決めたほうが良いかと思えます。(被災地を助ける、などは善のエフェクトが極めて強いのももちろん例外的にプラスのものです)

そのように、分かりやすいようで分かりにくい基準で

「死」を行なう「神道からするところの悪人」は存在しています。

逆にこれらの悪人の影響を受けにくい人は、NetflixとAmazon Prime Videoにドはまりしている人だったりします。ネットでもテレビでもあまり情報収集をしないタイプは、ここらの影響は受けにくいと言えます。

逆に受けやすいのは、SNSで主に情報収集をするタ

イプでかつ、政治・主義・思想などの面で特定のバランスの悪い思想を持った人間に傾倒している人でしようか。フラットな人間からのフラットな情報収集をしていけるのであれば問題ないのですが、そのようなメディアも意見者も世の中には一人も存在していませんので、なんとも言い難いところです。

## 6. 特殊な「善人」

- ・ 金持ち自慢をする金持ち

特殊な「善人」の代表格は、金持ち自慢をする（自称、または事実としての）お金持ちのことです。例えばランボルギーニ（超高級車）をYouTubeやSNSで自慢している人が多く居ますが、アレです。

人間は基本、「生存」を主にする生き物で、サブとして「向上」を考えます。つまりは、衣食住が足りている中で向上をしていこうとする、というのがまっとうな考え方です。

金持ち自慢をする金持ち、というのは、「向上を主に考える生き物」を大量生産していきます。結果的に、そのエフエクトに晒された優秀な人間は本気度を上げ出世を

し、アルバイトは正社員になり、正社員は出世したり、独立したりして自営になり、という形式で、一種の昇華をもたらすのだと言えます。

そういった向上を周囲にもたらししていくものとして、「金持ち自慢をする金持ち」は善人だと言えます。

ランボルギーニは新たなランボルギーニユーザーを生みます。ちなみにランボルギーニは3000万円ぐらいしますので、私には逆立ちしても買えません。（余談です

が、神氣界しんきかいのご相談者様がランボルギーニのウラカンに乗られています。が、駐車場でエンジンを掛けましたらその爆発音と言ったほうが早いようなエンジン音で、ご近所さんが「名ぐらい家から顔を出してきました。いやあ凄（さい）い」

・飲み屋のネーチャン

キヤバクラ・クラブ・スナック・ラウンジの、ネーチ

ヤンおよびママさんも、かなり特殊な「善人」だと言えます。

アルコールによる中毒に加えて、女性とお話ができる中毒というダブル中毒によつて、「余剰資金を無理に使う場所」に何度も来させる、というのが彼女等の働きになります。

「余剰資金を無理に使う場所に行く中毒」になつたとい



うことは、それなりの資金がいるということになります。そこに通う人は結果として仕事をしなければならぬですし、あるいは、仕事上での接待交際権限などを獲得していかなければなりません。接待交際費の獲得にはすなわち、大金を生む（経済に大小なりとも影響する）仕事が必要ということになります。

このことから、「エフェクト」としては、向上心を生むものとして極めて良いものにあたります。

（「余剰資金を無理に使う場所に行く中毒」としてパチンコも似ていますが、アレはパチンコ台から発せられる光のビカビカと、ギャンブル性によつて感情が荒くなるので悪です）

ちなみに、その仕事としての外への影響は善ですが、働いている本人達への自分自身への影響は「悪」だと言えます。

このような飲み屋で女性が働くと、一般的な仕事による収入が最底辺以下のように思えてきますので他の仕事に行きづらくなります。また、お客さんとの恋愛があった場合には、その相手が、アルコールの場などで「発散」の優先度が高く、大きな金額を使ってしまう男性のため、ストレスが溜まりやすい方である傾向があります。

かつ、収入帯がかなり多い男性との交際でなければ、相手が金銭を使って自分に奉仕をしてこないこと自体の

イラつきが出ますので、その点でも生き辛さが出てしまいます。

社会的な影響は大変優れているものの、自己犠牲が激しい仕事だと言えます。飲み屋で働く方々には、ぜひ良い男性と一緒にあって欲しいと感じます。

## 7. 特殊な「悪人」

・与えることで壊す人

「与えることで壊れる人」が存在します。

鉢植えに水を与えすぎると植物が根腐れをおこすように、お金を無償で与えると腐る人間が居ます。

主に高齢の親が30代中後半の息子や娘にお金を与え

続けるパターンと、50代後半の親が25歳以上でアルバイトや趣味に走っている子供にお金を援助し続けるパターンとがあります。

子供可愛さにお金を与えるにせよ、「正当な理由なく、全力で働くことが絶対にならない人を作る」ことに変わりはありません。衣食住は25歳を過ぎたら基本的には自分自身で獲得すべきものになります。

「自分とどのような苦勞をさせたくない」などでこれをやつて、子供の持つ優秀さやその可能性を刈り取る親は非常に多く居ます。

「子供の人生の破壊を親がやる」ということなので「社会的な影響」とは言えない自己責任さがあり、そこまでの悪とは言えない部分もありますが、意外に日本にはこれに該当する親子が多いと言えます。

以前、このパターンの母親（70代の方）に強く注意し

て、働かずに飲み歩いて孫（10代）をややネグレクト気味の子供（30代）への家賃の援助と、プラス月何十万かの援助をスパッと止めさせたことがあります。

与えても良い子供とそうじゃない子供は世の中で半分半分かと思いますが、皆さんが与えてあげる立場になった時は、相当な客観的な目線で「与えても腐らないか」を考えるべきだと言えます。



上記は家族を一例にしましたが、友人知人他人に対して一方的に与える側に回りすぎて、相手の自助努力を刈り取る人も、無自覚ながら多く居ると言えます。

天敵が居ない島に「飛べない鳥（ドードーやヤンバルクイナ等）」が居るように、何事もせず対価がもらえる環境というものは退化をもたらしうるものです。20歳を過ぎたら多くの人に対しては毒になってしまいうのかも、と一旦は考えた方が良いでしょう。

・無自覚に悪人になる善人

「他人に促されて悪人になる優しい人」も存在します。

一般的に言う「善人」とは、「優しくて問題がなく、人の言うことを素直に聞いて、牙を向かない人」のことを言うかと思えます。まさにそのような人が陥りがちな話です。

こういったパターンの人はまず根底に「人に嫌われた

くない」「失望されたくない」という明確な欲があるのだと言えます。

具体的には、女性のAさんには彼氏Bさんがいてお付き合ひしているとして、Aさんが別の男性Cさんの誘いに乗ってしまう、みたいなパターンがありえます。理由は「Cさんに嫌われたくないから」です。

他にも、善意だけで生きていたら変な宗教にハマり、善意で勧誘して人に大変嫌がられている人も、無自覚か

と思いますがここに入ります。

人間は一般的に言うところの「善人」ならそれで良いのかと言え、そうではありません。

「悪意に反応し、きちんと自我<sup>じが</sup>を持って二本の足で自立し考える善人」こそが理想的な善人なのです。

人に嫌われたくないあまり、人に流され続けるような人間は善人ではありません。一番たちの悪い悪人になり

得る、なんとも否定しにくい嫌な人間になる種を持って  
いる人にあたると言えます。

右ポケットに倫理の教科書を、左ポケットに道德の教科書を、リュックサックに六法全書をつっ込んだような  
一般的な善人こそが至高の存在だと言えます。そんな人  
……居ませんね。

## 8. 今すぐ「善人」になるには

人生の場面によって、神道の神様からするとところの「善人」の定義は変化します。それぞれの局面での具体的な定義を挙げてみましょう。

### ◇学生

・ 勉強する。忙しい程度には勉強をする。  
・ 悪いことをしない、自分で考える大人になる、と考える。気付く。

・ 陽気に喋れるように、ペルソナ（対社会的な仮面、人に披露する嘘の人格）を作る

### ◇主婦（子供が居る）

・ 子育てに全力全開

・ 子供の頭を良くする事に注力。家のお金もそこに重きを置く。

・ 子供が小さくなければできれば仕事をする。そうして社会から得た感想やケーススタディを、一人の大人として子供を扱<sup>あつか</sup>って話す。与える。

・ 子供の得意分野を見つけて伸ばす



・ 子供が小さいなら中古で良いので「図がかなり多い紙の百科事典（何冊もある大ボリユームのもの）」を買って読み聞かせ続ける

・ 夫の仕事を向上させる。向上心を煽<sup>あお</sup>る。一応ついでに支える

・ 17歳以上の子供を子供扱いしてはならない。親以下かくズかのどちらかに極めてなりやすくなる。敬意を持つて一人の大人として話し、その意見も参考にするこ

とも有つても良いと接するように。

### ◇主婦（子供がいない）

- ・ 子供がいると良い
- ・ できれば仕事をする。することで、人と影響し合う
- ・ 資格の取得でホームラン（いきなり収入帯を上げ、社会的地位を上げること）を目指す

## ◇会社員・自営以外の社会人

- ・死ぬ気で働く。しかし死なない程度に休む
- ・伴侶を作る（妻・夫）
- ・子供を作る
- ・地位の向上を目指す
- ・立場を利用してポケットマネーを得ない（デイベート・

キックバックをしない。やると、目的を本当に絶対に  
見失ってしまう)

### ◇自営

- ・死ぬ気で働く。しかし死なない程度に休む
- ・伴侶を作る（妻・夫）
- ・子供を作る

・ 人の雇用を増やすことを考える。できれば正社員

・ 業務の拡大を志す

・ 売上と利益の向上を志す

・ 業務拡大のための投資をする

・ 仕事をしない時間を1日12時間は必ず作り、かつ週2日は休むことを目標とする（主に、人を使うことにより）

・ 高いものを買うのが嬉しいタイプなら、ぜひ買う。や

せ我慢せずに見せびらかせば良い。(しかしもつと高いものを人に見せびらかされるから、更にもつと高いものを買えるようになれ)

◇引退後（65～67歳以降）

・死ぬ気じやなく働く。労働というレベルじやない程度に働く。

・メシにまあまあ気をつけて長生きをする

・興味関心の火を絶やさない。時間の有効活用を意識して、忙しくする。これにより脳みそを酷使する。常に考える。↓ボケないことが人と社会に対する良い影響に繋がる

・孫に教育材料を買う、あるいは買わせるように子に指導をする

・孫が低年齢なら死ぬほど話しかける。嫌がられても話

しかけ続ける。

- ・変にプライドが高いならそのせいで二度と子供と孫の顔が見られなくなるから今すぐ捨てる。子供の立場になつて、自分が子供扱いされた時のイラつきを考えろ。

### ◇引退後（73歳以降）

- ・興味関心の火を絶やさない。時間の有効活用を意識し



て、忙しくする。これにより脳みそを酷使する。常に考える。

- ・ 不良なメシを食わない。健康食を食う。

- ・ 孫の顔を見てよく喋れ、無意味でも喋り倒せ

- ・ 変にプライドが高いならそのせいで二度と子供と孫の顔が見られなくなるから今すぐ捨てる。子供の立場になつて、自分が子供扱いされた時のイラつきを考えろ。

## ◇病氣などで働けない人

- ・ 治す。そのためにありとあらゆる方法を考える。
- ・ 無理なら医者をぐるぐる回ってなんとかする。
- ・ なんともしないなら、医者にとにかく質問をして方法を得る。

以上です。

全体的に、「人に関わること」「人に関わる身内に関わること」の2点が重要です。

晩年にはボケず・死なずに長生きして、孫に知恵や、人生で得られた結論としての考え方や概念を継承していくことが求められます。

ちなみに仏教的なところでは、「今この瞬間に、正しい

人として生きること。これを一生涯連続させる」こと一点が求められます。

正しい人とは、先に書いたように「身しん口く意いを正しく持ち、仏教に帰依し祈る人」を指します。

なお人生で「やっちゃまった！」というタイミングが多い人は、晩年に仏壇や仏閣に向けて拝み倒しておけばなんとでもなります。極端に言えば、人殺しかその類似行為さえしていなければ、拝めば大丈夫、という懐の深さ

が仏教にはあります。その点、仏教は優しいのだと言えます。

（ちなみに仏壇は「仏様に拝む祭壇」であつて、ご先祖様に拝む祭壇ではありません。ご先祖様のことを仏様にお願いするのが仏壇です。ご先祖様も見ていますけども、一応）

様々に書いてきましたが、結論として言えば「今の自

分ができる範囲で、出来る限りの良い影響を、出来る限りの範囲の人に与えること」こそが、神様に好かれることだと言えます。

また神様に変に嫌われないためには、角度が偏った思想や発言をSNS他で垂れ流さないことです。草の根活動で、身内以外にそういった話をするのもよくありません。

私達は神様に好かれ、嫌われない人になっていくことが望ましく、また、仏教的な観点も少し書きましたが、発言・行動・考え方にも気をつけて生きていくのが理想的だと言えます。

子供や孫がいれば、ある種のチャンスと言わざるを得ません。めちやめちや出来が良い子供に成長させることで、あなた自身も神様に好かれる人になっていきます。

本書は「神社参拝の奥義」と題しましたが、本章では「神様に好かれるために理解すべきこと」を解説しました。

神社参拝以前に「どのような影響エフエクトを持つ人なのか」という部分や考え方をより磨き上げることができれば、事実、願い事が叶う神社参拝により繋がるのだと断言できます。



本書をお読みの皆さんには、その数だけ多種多様な願い事が存在しているかと思っています。

本書との出会いから、その全てが叶うことを私は願ってやみません。

## ◆あとかぎ

神社神道の大神様達おおかみさまにより意外にも人は導かれていま  
すし、また意外にも、とてつもない軌道修正をされてい  
ることをご理解いただけましたでしょうか。

私の以前の友人なんかは、一緒に伏見稲荷大社ふしみいなほだいしゃに

参拝した後、家に近くで「狐」（ちゃんとした生きている本物の狐）を見て以降、超スピードで結婚・妊娠・出産・新築一戸建て購入・転職収入アップで大成功・子育てと両立リモートワーク、というルートへ爆進していきました。

何を思っ、何のために参拝しているか分からない、きっと何も変わらないけどいいから参拝しておく、という

方が悲しいかな世の中には多いのだと思います。

本書を読んだ機会に、日本人としての教養や常識としてそのスタンスを変えて頂ければ幸いです。

また、敬意をもつて参拝してきちんとお願いすれば、あるいはし続ければ、必ず奇跡が起こるからこそ参拝していくという明確な確信を持ってご参拝下さい。

その際には本書を読み込み、究極の神社参拝をぜひ行なうて頂ければと思います。

私は、皆さんの現実を変えるためにこの霊能者という仕事を行なっています。

本著では、それに同じく「現実を変えるための神社参拝法」を皆さんにご提供を致しました次第です。

また、本著のような神社参拝に関するお話ができる、というのは私のたった5%以下の側面でしかありません。

常日頃は、【靈能者占い鑑定所 神氣界<sup>しんきかい</sup>】にて「現実的なお話をして現実を変えていく靈能者」「現実的な身体症状を変える氣功師・ヒーラー」として全方位の問題解決を仕事として行ない、また【オンラインサロン 千泉界<sup>せんぜんかい</sup>】では同ヒーリングを余すところなくオンラインサロンの会員に伝授することを主な仕事としています。

他にも結婚相談所・御札（靈符）の販売・スピリチュ

アルアイテムの開発販売も手掛けています。

上記は父より引き継いで二代目の霊能者として仕事をするにあたり、「全ての人の全ての悩みを解決する」という果てなき目標を掲げたことに始まったものになります。

その私の中でさえ行き詰まった案件には、究極の方法論として神社参拝や、私による代理参拝を推奨しています。

これは最も現実を変える力が強い手段であるからです。  
ただしその力を本当に解決のために受け取れるかどうかは、「神社次第」「作法次第」「心次第」「知識次第」「神様の気分次第」でもあります。

本著には余すところなく、神社参拝における「奥義」を記しました。



これにより皆さんの願いが叶い、人生を最上のものにしていくことを望むばかりです。

最後になりますが、もし私という霊能者に興味がお有りの方は、ブログを月間3〜4本ほど更新しておりますのでぜひ、霊能者占い鑑定所 神気界しんきかい

<https://www.sinkikai.com/>へアクセスして下さい。深い悩みをお持ちの方や様々な方に向け、日夜占い鑑定

を行なっております。

また、様々なお身体の不調がお有りの方や人を癒せる能力にご興味のある方には、オンラインサロン千泉界せんぜんかい【<https://senzenkai.sinkikai.com/lp3/>】もお勧め致します。

ご縁がございましたら、ぜひ一度お会いいたしましょう。



オンラインサロン  
「千泉界」



霊能師占い鑑定所  
「神気界」

オンラインサロン「千泉界」  
霊能師占い鑑定所「神気界」

代表 泉 皇導

特典  
プレゼント

QRコードから  
千泉界のLINE公式に  
登録しご予約下さい。



本書をご覧のあなたに特典として  
「千泉界」代表 泉皇導との  
「1..1ヒーリングセッション」を  
無料プレゼント致します。



## ◆著者紹介

泉 皇導（いずみ こうどう）

1994年より続く愛知県名古屋市の霊能者占い鑑定  
所 神気界しんきかい代表。

初代皇導の没後、2012年に屋号と共に二代目を襲

名。

その後、1万7000件超を鑑定する。

霊能者の機能は「当てる」「変える」の2点のみが重要であるとして、靈感霊視により「現実を占い」、固有のヒーリングおよび霊能力により「現実を変える」ことのみを重要視した独自の霊能者像を探求し続ける。

「霊能力の实在の証明」を行い、また「一度の占い・一度の鑑定依頼での全ての解決」を目標としてリピーター目的の仕事を排除した、他に類を見ない鑑定スタイルの霊能者として日々多種多様な依頼を引き受け続けている。

現在では1年で会員数50名に達したヒーリングや霊能力を伝授するオンラインサロン「千泉界」<sup>せんぜんかい</sup>の運営、  
“成婚率80%”という結婚相談所の平均の4倍の成婚率

を誇る「占い結婚相談所朱鳥居」の運営、現実的な変化にアプローチするスピリチュアルアクセサリーブランド「Dels」の商品開発を行う。

霊能者としての「術のプログラミング」という固有技術より、現実を変えるための術を生み出し現実を変えるための占術を用いる、日本唯一無二の霊能者にあたる。



## ◆関連ウェブサイト

○ 霊能者占い鑑定所「神気界」

<https://www.sinkikai.com/>

1994年創業。二代目霊能者・気功師 泉 皇導 ヘイズ  
ミコウドウ〉が行なう霊能者占い鑑定所。



# ○ オンラインサロン 「千泉界」 特典用ページ



<https://senzenkai.sinkikai.com/lp3/>

誰でも入会後すぐにヒーリングが使えるようになるオンラインサロン「千泉界へセンゼンカイ」。本書限定特典用のページです。

## ○ オンラインサロン 「千泉界」 公式

<https://lounge.dmm.com/detail/5292/>

千泉界の公式ページで、こちらよりセッション無しでの直接のご入会が可能です。



## ○ 占い&結婚相談所 「朱鳥居」

<https://www.sinkikai.com/>

泉皇導が成婚まで伴走・フルサポートする結婚相談所

## 「朱鳥居」

入会後の成婚率が現在、通常の結婚相談所の約4倍（80％）にもものぼる究極の結婚相談所。



○スピリチュアルアクセサリーブランド「Dels」

<https://dels.jp/>

泉 皇導が開発者を務める “革命的” ス  
ピリチュアルアクセサリーブランド  
Dels 〈デルス〉。



固有の霊能力によるプログラミング術を「思考の加速」  
「精神の安定」「ダイエットのサポート」等に使用したア  
イテムを販売。

## ○ 神氣靈符しんきれいふ

<https://shop.sinkikai.com/>

泉 皇導直筆の「現実的な変化にアプローチする御札」神氣靈符の販売。



金運・仕事運・諸願成就・災難除けなど、十三種類の霊符がラインナップ。

# 神様しか知らない 神社参拝の奥義

---

発行日	2024年2月3日
著 者	泉 皇導
発行者	霊能者占い鑑定所 神気界 オンラインサロン 千泉界

---

©2024 Izumi Kodo  
Published in Japan